



竹内 道優 / 清洲小学校

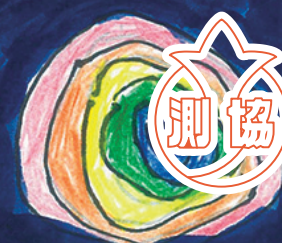
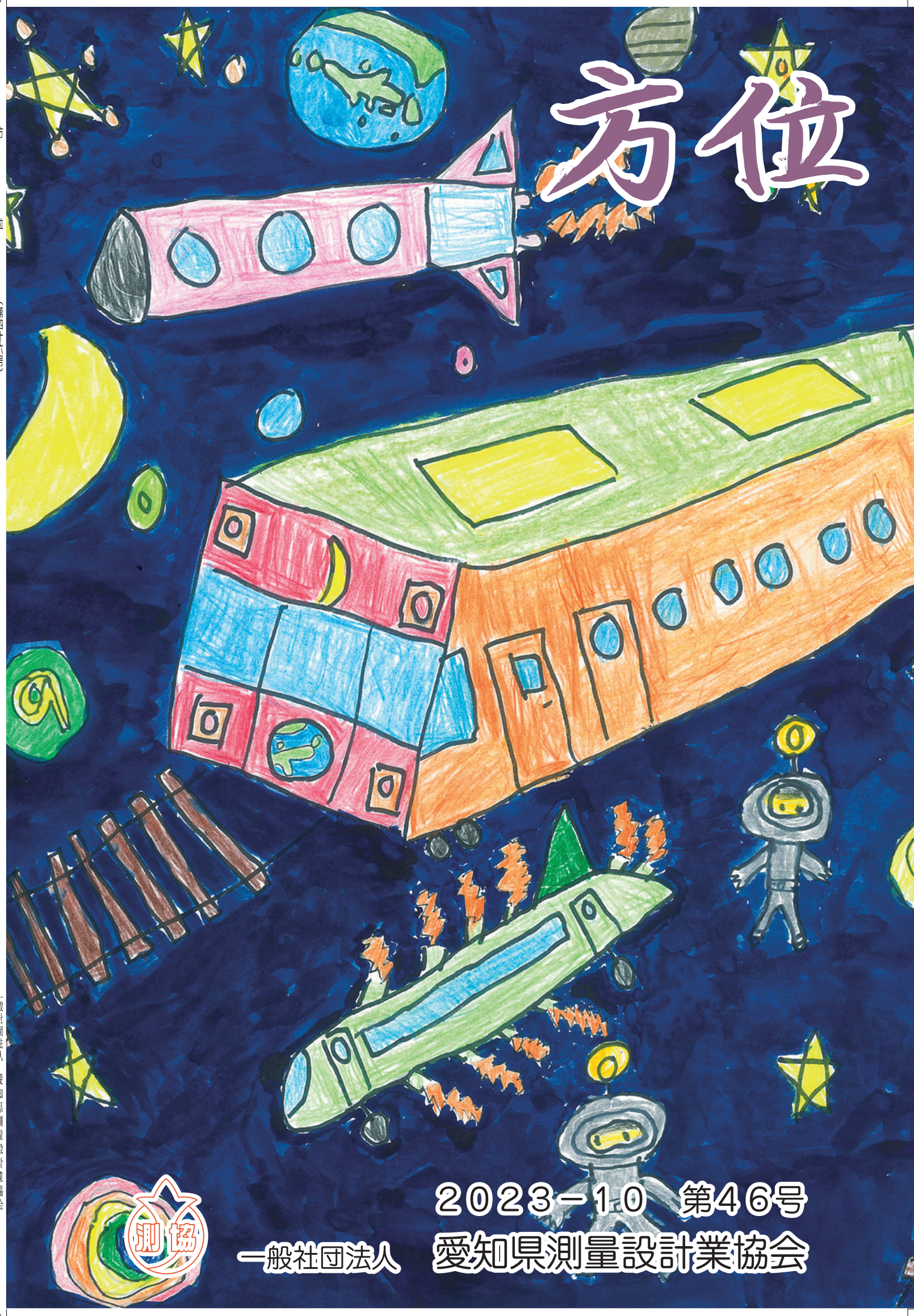
愛知県測量設計業協会は、障がいがありながらも自立を目指す才能のあるアーティストを応援します。
アート・福祉・地域活性・経済活動をつなぐ新しいかたちとして誕生した、アティックアートの活動の輪を社会に広げていきたいと思ひます。


(一社)愛知県測量設計業協会

アティックアート

**あいち
アール・ブリュット**

方位



2023-10 第46号
 一般社団法人 愛知県測量設計業協会

一般 社団法人 愛知県測量設計業協会について

昭和49年11月、社団法人愛知県測量設計業協会は愛知県知事の認可を得て正式に発足しました。

「測量業」の生立ちは、昭和24年6月測量法の公布により、測量技術者の資格と担当範囲が制定され、ここに測量業者の誕生となり、昭和36年6月の測量法一部改正により、測量業の登録制度が法制化されました。

測量業者の組織では、昭和36年8月社団法人全国測量業協会が発足し、全国に8支部を設置。当地区にも中部支部が設置され活発な事業を展開しました。各県に会員が増加し、昭和42年8月支部内に愛知県支会が発足、地域独自の諸問題に対処してまいりました。その後、県内独自の組織の強化が叫ばれ、支会の公益法人化を目指し、昭和49年11月愛知県知事の認可により社団法人の資格を得、社団法人愛知県測量設計業協会が発足致しました。

「公益法人改革3法」が平成20年12月1日から施行されたことに従い、私共は

一般社団法人化を目指すこととしました。愛知県建設部の御指導を賜り、平成25年4月1日付けで移行許可を受けることができました。

今後とも、非営利法人の自覚のもと、公益事業として、測量設計無料相談所の設置運営、災害等緊急時協力体制の整備確立等の地域社会への貢献、会員の親睦と団結、技術の研鑽等の研修活動、各種要望、陳情活動、並びに協会の広報活動等々、協会の目的達成のために、幅広い活動を展開して参ります。

創立以来、関係機関の皆様からの厚いご支援、ご鞭撻のお蔭を持ちまして、当協会も順調に推移してまいりましたが、昨今の業界を取り巻く環境は厳しく、健全な発展を図る為に、更に一層のご支援、ご鞭撻をお願いする次第であります。

会員一同は、一致団結してこの難局に対処致し、地域社会への貢献、技術の向上、経営の安定化、社会的地位の向上等々に、尚一層取り組んで参りたいと存じます。

協会の主要な事業

- (1) 測量、調査、設計、技術等の向上の為研修及び講習会の開催
- (2) 測量及び設計業の技術及び経營業務の改善に関する調査研究
- (3) 災害復旧における技術援助計画の立案及び実施
- (4) 関係機関及び各種団体との連絡及び提携
- (5) 測量及び設計業の社会的使命に関する宣伝及び啓蒙
- (6) 県民無料測量及び設計相談所の開設
- (7) その他本会の目的を達成する為に必要な事業

方位 第46号の刊行にあたって

広報委員会

委員長 永草 新吾

恒例となりました年一度、皆様にお届けしている「方位」ですが、本年も第46号が完成し、刊行することが出来ました。一人でも多くの県民の皆様にお読みいただき、社会資本整備の必要性を再認識していただくと共に、学生や生徒の皆さんには業界研究の情報誌として活用していただければと、今回も2000部をご用意いたしました。県内全ての公立図書館・官公庁・大学・高校等で読み親しんでいただければ幸いです。

今年も各地で豪雨等の自然災害が発生し甚大な被害が相次いでいます。この愛知県でも、6月に三河地方を中心に大雨が降り、一日の最大降水量として、豊橋、岡崎、蒲郡、新城、田原の5市で観測史上最大となりました。

この豪雨によりお亡くなりになられた方々に対し、心からご冥福をお祈りいたしますとともに、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、愛知県は、岩盤規制改革を断行する「産業の担い手育成のための教育・雇用・農業等の総合改革拠点」として、2015年8月、国家戦略特別区域に指定され、さまざまな事業が行われています。

今号の特集では、愛知県における国家戦略特区の取組について、政策企画局 様より寄稿していただきました。

公益事業への取り組みでは、「愛知県農業クラブ連盟平板測量競技会」への支援、国土地理院中部地方測量部との協働による「測量の日」の関連事業として県内小中学校生徒を対象に関催されております「地図教室」の様子を紹介しています。

協会トピックスでは、当協会会員企業で新たに社長に就任した新社長に就任の抱負、同社の取り組み等を紹介していただきました。また、前号に引き続き、学生や転職入職者の皆様には、会員企業の新入社員（入社3年目）及び若手・中堅技術者からの投稿を掲載しています。就職活動の一助となれば幸いです。

また、今回は愛知県建設局長 中島 一 様からの巻頭言をはじめ、特集では、愛知県政策企画局 様からと多くの方に寄稿頂いたことに対し、皆様に厚くお礼申し上げます。

最後になりますが、この「方位」を多くの皆様に読んでいただき、当協会活動の社会的認知度がさらに向上できるよう努めてまいりますので、ご指導・ご支援をお願いする次第です。

目次

一般社団法人 愛知県測量設計業協会について	1
「方位」第46号の刊行にあって	2

挨拶と巻頭言

刊行にあたり	今村 鐘年	5
刊行に寄せて	中島 一	6

特集

1. 愛知県における国家戦略特区の取組について	佐藤 令奈	7
-------------------------------	-------	---

公益事業への取り組み

1. 平板測量競技会への支援	吉本 三広	11
2. 地図教室と測量体験学習	吉本 三広	12

協会トピックス

1. 新社長紹介	13
2. 新入社員紹介（入社3年目迄）	15
3. 若手中堅技術者からの投稿	19

協会委員会活動報告

1. 協会活動報告	23
2. 総務委員会	30
3. 広報委員会	31
4. 測量委員会	32
5. 建設コンサルタンツ委員会	33
6. 危機管理委員会	34

会員紹介（サ行）

- 1. 信栄測量設計(株) 35
- 2. (株)新日 36

紹介

- 協会顧問の紹介 37
- 役員名簿 39
- 委員会名簿 40
- 会員名簿 41

- 広告 43
- 編集後記 巻末

表紙 揮毫「方位」・・・・・・・・・・一般社団法人 愛知県測量設計業協会会長
今村 鐘年

表紙（絵） アティックアート

挨拶と巻頭言

刊行にあたり

(一社)愛知県測量設計業協会
会長 今村 鐘年



機関紙「方位」第46号の刊行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

私ども測量設計業協会は創立以来、国土交通省、愛知県を始めとする地方公共団体の方々、並びに顧問団の先生方の温かいご支援を頂き今日に至っております。

改めて、厚く御礼申し上げます。

新型コロナは5類感染症に移行され、定点医療機関の新型コロナ感染者が週ごとに増加傾向にあります。今後は、インフルエンザ同様、コロナと共存せざるを得ない日々となりますが、事業の継続が求められる業界としては業務を遅延する事なく「継続すべき業務を担う業界」として強い認識のもと、日々の業務遂行に、良質な成果納入に、顧客満足度の向上に努めています。

また、改正労働基準法を順守し、働き方改革の一層の推進、改正品確法を踏まえた更なる品質の確保、若手・有資格者の確保が課題となる一方で生産性向上への取組みの重要性が高まっています。

私ども測量設計業界は、適正な利潤を基に経営基盤を安定させ、労働環境の改善や人材育成など、『魅力と働きがいのある業界』を目指しています。

調査・測量設計業は、「地域の守り手」として重要な役割がありますが、「3K」に代表される負のイメージが根強く残っています。反面、明るい新3K「給料・休日・希望」、或いは「かっこいい」を加えた新4Kも業界の魅力を高める事柄であるが認知度はいまだ低く、測量設計業全体のイメージアップに取組み、改善を進め、若手・女性技術者に「やりがい」を持ってもらい就職を加速化し、育成の重要性が直近の大きな課題であります。

近年、地球温暖化の影響による異常な気象や全国各地で発生する地震、この地域では「南海トラフ巨大地震」の発生が危惧されています。また、台風災害、豪雨災害、特に前線の活発化による「線状降水帯」による豪雨災害が頻発するようになってきました。この地域においても、2000年の東海豪雨災害を思い出しますが、連続し線状降水帯が発生した際、内水氾濫の発生を引き起こし甚大な被害が生じるのではと危惧するところです。

私ども測量設計業は、国や自治体と連携し、被害状況の調査や応急対策の立案、用地補償調査を行うなど、復旧作業の道標となる役割を果たしております。

広域・激甚災害から国民の生命、財産、暮らしを守るための事前防災や災害復旧対応の迅速化、更には老朽化が進むインフラに対する維持管理への対応が求められています。中長期的な視点に立った安全・安心な国土づくりに必要な公共事業費に加え、「防災・減災・国土強靱化対策」を継続的、計画的に推進する方針のもと安定的な予算確保を業界全体が期待するところです。

今回は、2015年8月28日に「産業の担い手育成」のための教育・雇用・農業等の総合改革拠点として、愛知県全域が「国家戦略特別区域」に指定されました。

愛知県は、自動車・航空宇宙等の国内最大のモノづくり集積地として、教育・雇用分野における規制改革を通じた産業人材の育成や次世代技術の実証を通じ、成長産業・先端技術の中核拠点を形成する。併せて、農業分野においても農地の流動化、耕作放棄地の解消等を図ることにより、第一次産業を含めた統合的な規制・制度改革を実現することを目標に取り組まれていますので「国家戦略特区の取組み」について特集することとしました。

特区は「日本全体の経済活性化」、「地域の経済活性化」を目的に、「知恵と工夫の競争による活性化」、「自助と自立の精神の尊重」を基本理念として取り組むものであり、私ども協会員も微力ながら寄与できればと思っております。

世情が日々変化する中、「働き方改革」の実現のための環境整備を進め、測量設計業の経営の安定と将来を担う人材の確保・育成を図り、社会資本整備事業に貢献するため、行政機関との連携強化を深め、業界が大きく発展するよう全力を尽くしていきたいと思っています。

協会員は、日頃から『協調と競争』をキーワードに行行政機関の良きパートナーとしての自覚を持ち、『夢のある産業』を目指し、日々研鑽・啓発に努めて参ります。

引き続き、行政機関の皆様には協会並びに協会員に更なるご支援・ご指導を頂きますようお願い申し上げます。

刊行に寄せて

愛知県建設局長

中 島 一



一般社団法人愛知県測量設計業協会の会員の皆様方におかれましては、日頃より新たな技術の取得、研鑽に努められ、測量設計業の健全な発展、さらには社会基盤の整備や地域社会の発展に、大きな役割を果たしてこられたことに深く敬意を表します。

また、本年6月初旬に発生しました大雨での対応では、本県との防災協定に基づき、協会員の皆様方には被災箇所の調査・測量・設計業務を担っていただいております、心から感謝申し上げます。

さて、「アフターコロナ」の時代を迎え、今年度は徐々にではありますが、人々の外出する機会も増加傾向となっています。そのような中、本県ではジブリパーク第二期エリアの「もののけの里」「魔女の谷」がオープンを迎えます。さらに、2024年には国内最大級のインキュベーション施設である「STATION Ai」が開業予定、2025年度の愛知国際アリーナ、2026年度のアジア・アジアパラ競技大会の開催、2027年以降のリニア中央新幹線、中部国際空港第二滑走路など、本県には日本の未来を形づくる重要なビッグプロジェクトが次々と控えており、これらプロジェクトの効果を最大限に活用していきます。

特に、リニア開業は、三大都市圏が一体化する「リニア大交流圏」の形成が期待されています。本県としては、首都圏との時間短縮効果を県内全域に波及させ、そのインパクトを最大限に活かすために、玄関口となる名古屋駅のスーパーターミナル化や、中部国際空港及び名古屋港、三河港などの港湾機能強化を推進するとともに、これらの交流拠点と産業集積地、観光拠点などの相互交流を活性化していくため、道路ネットワークの整備も促進していきます。

一方で、県民の安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備、適切な維持管理にもしっかり取り組んでいきます。発生が懸念されている南海トラフ地震への対策や全国で激甚化・頻発化する風水害への対応については、「愛知県地域強靱化計画」において、

「命を守る」「機能を維持する」「被害を軽減する」「迅速な復旧復興を可能とする」の4つの目標を掲げ、建設部門においては緊急輸送道路の整備、河川・海岸堤防の耐震化、土石流対策施設等の整備などを進めていきます。

社会インフラは、高度経済成長期に集中的に整備された施設の老朽化が進んでいます。特に橋梁では、建設後50年が経過したものが、現在は約5割のものが、20年後には約8割に達するなど急速に老朽が進んでいきます。そこで、長期的なコストの低減を図るため、予防保全型維持管理のメンテナンスサイクルを確立するとともに、ドローンやAIなどの新技術を活用することで維持管理の効率化・高度化を図っていきます。

労働環境に目を向けますと、少子高齢化に伴い労働人口が減少する中、建設業界においても、就業者の高齢化や次世代を担う若手技術者が不足しており、今後の建設産業を支える担い手の確保・育成が喫緊の課題となっています。このため、繁忙期解消に向けた設計・施工時期の平準化や、DXを活用した業務の効率化などの取組により、働き方改革を一段と進めていかなければなりません。

また、担い手確保の一環として、昨年8月より愛知県土木の公式YouTubeチャンネルを開設し、愛知県の建設事業・プロジェクトの紹介や、建設の仕事の魅力を発信しています。今後、土木、建設業を志す学生さんはもとより、多くの人に建設業のもつダイナミック感ややりがいといった魅力を発信していければと考えています。

これらの施策を着実に進めていくためには、皆様方の確かな技術力と豊富な知識や経験が必要不可欠であります。今後とも、本県の建設行政に一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げます。

愛知県における国家戦略特区の取組について

愛知県政策企画局企画調整部企画課

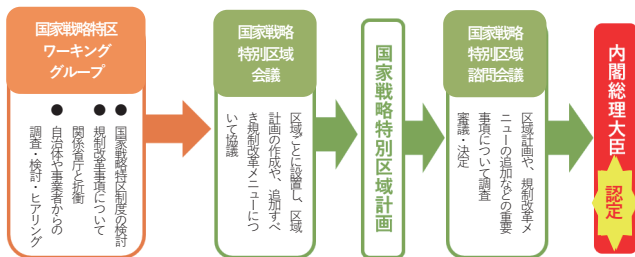
課長補佐 佐藤 令奈

1. はじめに

国家戦略特区とは、地域を限って大胆な規制改革を実行するため、2013 年 12 月に成立した「国家戦略特別区域法」に基づき創設されたものです。

国家戦略特区は、活用できる地域を厳格に限定し、産業の国際競争力の強化及び国際的な経済活動の拠点の形成を促進する観点から、国の成長戦略に資する岩盤規制改革に突破口を開くことを目指した制度です。

国家戦略特区では、新たな規制改革メニューを提案することと、既に規制改革がメニュー化されているものを活用することの2つが可能となっています。



(図1) 国家戦略特区における特例措置等の適用の流れ

国家戦略特区ワーキンググループでは、新たな規制改革メニューを提案する「新規提案」について、提案された規制改革が妥当か否かを審議します。有識者の委員により、提案者や規制所管省庁がヒアリングを受け、認定を受ければ、新規メニューとして登録されます。(図1)

既にメニュー化されている規制改革を活用する、いわゆる「特例措置」の場合には、規制改革の妥当性は既に議論が済んでいますので、「国家戦略特区ワーキンググループ」は開催されず、特例措置を活用することを国家戦略特別区域計画に位置付けることがメインとなります。

そして、国家戦略特別区域計画に記載する場合には、まず、区域ごとに設置する、国家戦略特別区域会議に提出して、了解を得られたら、国家戦略特別区域諮問会議において内閣総理大臣の認定を受けます。

諮問会議で内閣総理大臣の認定を受けることにより、区域計画に位置付けられた規制の特例措置等が適用されることになります。

2. 愛知県の状況

愛知県は、2015 年 8 月 28 日、「産業の担い手育成」のための教育・雇用・農業等の総合改革拠点として、愛知県全域が国家戦略特別区域に指定されました。

また、同日付で本県を対象とする「国家戦略特別区域及び区域方針」が、内閣総理大臣により決定されました。

本県は、自動車・航空宇宙等の国内最大のモノづくり集積地として、教育・雇用分野において、規制改革を通じた産業人材の育成や、次世代技術の実証を通じた、成長産業・先端技術の中核拠点を形成するとともに、農業分野において、農地の流動化、耕作放棄地の解消等を図ることにより、第一次産業も含めた総合的な規制・制度改革を実現することを目指しています。

2015 年 8 月の内閣総理大臣による決定を受けて、2015 年 9 月 8 日、第 1 回愛知県国家戦略特別区域会議において「愛知県 国家戦略特別区域 区域計画」が決定され、翌日、内閣総理大臣による区域計画の認定が行われました。

本特区に指定されることで、国家戦略特別区域法等により措置された特定事業のほか、構造改革特区で認められた特定事業を活用することが可能となっています。

なお、これまで、愛知県国家戦略特別区域会議は 18 回開催されています。

また、国家戦略特別区域は、本県をはじめ、東京圏（東京都・神奈川県・千葉市・成田市）、関西圏（大阪府・兵庫県・京都府）、新潟市、養父市、福岡市、北九州市、沖縄県、仙北市、仙台市、愛知県、広島県、今治市の 10 区域が指定されています。さらに、スーパーシティ型国家戦略特区として、大阪市とつくば市が指定されており、デジタル田園健康特区として、加賀市、茅野市、吉備中央町が指定されています。



(図2) 国家戦略特区の対象区域¹⁾

3. 愛知県における規制改革メニューの活用状況

特例措置は「都市再生」、「創業」、「外国人材」、「観光」、「医療」、「介護」、「保育」、「雇用」、「教育」、「農林水産」、「近未来技術実証」の分野があり、愛知県では、今日現在で25の特例措置を活用した33事業を区域計画に位置付けています。ここでは、活用している事業のうち、主なものをご紹介します。

3.1 有料道路管理の民間開放（都市再生分野）

都道府県等の道路管理者や地方道路公社などに限られている有料道路の管理・運営について、民間事業者による管理・運営を可能とする特例です。この特例措置は全国初の取組として、2015年に特例措置の活用が認められました。

愛知県道路公社が保有する有料道路8路線について、2016年10月から愛知道路コンセッション株式会社による管理・運営を実施しています。

なお、有料道路8路線とは、知多半島道路、南知多道路、知多横断道路、中部国際空港連絡道路の知多4路線、猿投グリーンロード、衣浦トンネル、衣浦豊田道路、名古屋瀬戸道路の計8路線です。



(図3) 愛知道路コンセッション株式会社による管理・運営がされている有料道路8路線

知多半島道路では、2018年7月に、既存の大夫パーキングエリア上り線と、阿久比パーキングエリア下り線がリニューアルされました。建物が世界的建築家の監修によるデザインに一新され、有名料理人の監修による地元食材を使ったメニューや土産品などを提供する、地域の魅力溢れる施設に生まれ変わりました。

また、2022年5月にオープンした大夫パーキングエリア下り線では、既設パーキングエリアと統一されたデザインによる商業施設に、利用者ニーズを踏まえた店舗が出店しております。

さらに、2022年12月18日から、知多半島道路 大夫パーキングエリア上り線が、一般道から利用できるようになりました。

知多半島の食材と「アクアイグニス」のコラボによる、ここでしか味わえないレストランメニューやお土産品を展開しています。ぜひ、お立ち寄りください。

3.2 工場の新増設（創業分野）

工場新増設の際に確保すべき緑地面積等については、本来、市町村は、国が定めた基準の範囲内で基準を設定する必要がありますが、このメニューを活用すると、市町村が個々の地域の特性に応じた基準を設定することが可能となります。

	緑地率	環境施設	重複緑地の緑地への算入割合
国準則	20%以上	25%以上	25%以下
市町村準則	5～25%	10～30%	50%以下
国家戦略特区	1%以上	1%以上	100%以下

(図4) 緑地率の比較

本県では、2023年6月28日の諮問会議において北名古屋市の活用が認定されました。この特例の活用により、北名古屋市内への再投資や、新たに北名古屋市へ進出する事業者のメリットを創出することにより、既存工場の定着及び新規工場の誘致が期待できます。

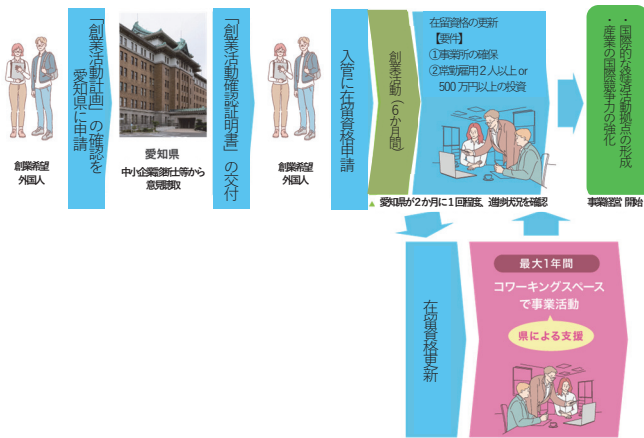
3.3 外国人創業活動促進事業（外国人材分野）

外国人が日本で創業するために必要な在留資格「経営・管理」を取得するためには、通常は上陸時に、「事業所の確保」とともに、「2人以上の常勤雇用」又は「500万円以上の出資金」等の基準（上陸審査基準）を満たす必要があります。国家戦略特区内では、これら要件を上陸後6か月間猶予できます。この特例は、本県では2017年4月から実施しています。

また、外国人による創業活動をさらに促進するため、創業外国人材の特例措置を活用し入国後、初回の在留資格更新時に、在留資格「経営・管理」に必要な確保すべき事業所について、自治体が認定するコワーキングスペース等についても最大1年間認められるという措置（創

業人材の事業所確保の特例) もあります。

本県では、2022 年 3 月に創業人材の事業所確保の特例の活用が認められ、2022 年 4 月から事業を実施しています。



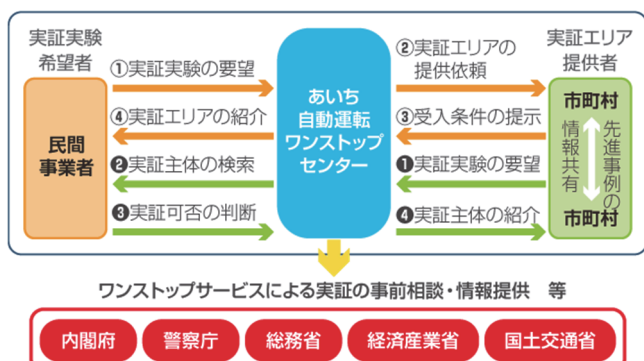
(図5) 外国人創業活動促進事業の仕組み

3.4 愛知総合工科高等学校専攻科の公設民営化（教育分野）

学校教育上、設置者に限られている学校の管理について、設置者ではない民間事業者による管理を可能とする特例です。

2015 年にこの特例措置が認められたことにより、愛知総合工科高校専攻科について、2017 年 4 月、全国で初めて、学校法人名城大学を指定管理法人として公設民営化されました。この特例を適用することによって、民間企業経験教員を確保し、また、民間企業に校外実習を受け入れていただくことができ、生産現場のニーズに即した人材育成につながっています。

3.5 あいち自動運転ワンストップセンターの設置（近未来技術実証分野）



(図6) あいち自動運転ワンストップセンターの概要

「あいち自動運転ワンストップセンター」は愛知県庁本庁舎 1 階にある経済産業局産業部産業振興課次世代産業室内に 2017 年に設置されました。

愛知県が 2014 年度から全国に先駆けて実施している自動運転のワンストップサービスについて、実証実験を

希望する民間事業者と実証地域となる市町村等とのマッチングを推進し、実証実験を行う際には、民間事業者等に対し、関係法令上の手続に係る各種相談への対応や情報提供、関係機関との調整等を行っています。

3.6 課税の特例（エンジェル税制）

エンジェル税制は、国家戦略特区内のベンチャー企業への個人出資を税制支援するものであり、特定事業を実施する一定の株式会社に対して個人投資家が出資した場合、この投資家の投資した年分の総所得金額等から一定額を控除できる制度です。

当制度は、活用した企業に対する課税の特例ではなく、活用した企業へ投資した個人に対する課税の特例となります。個人投資家は、「総所得金額×40%」と「800 万円」のいずれか低い方の金額から 2 千円を控除した額をその年の総所得金額から控除できるという優遇措置になります。

対象企業	主な要件
中小企業 (農業・医療・バイオ分野)	設立後 5 年未満 売上高営業利益率 2 % 以下
小規模企業 (全分野対象) 従業員概ね 20 人 (商業・サービス業は 5 人) 以下	設立後 3 年未満 一定の雇用増加 売上高営業利益率 2 % 以下



(図7) エンジェル税制の仕組み

本県では、2023 年 3 月 24 日の諮問会議において、障害者雇用のコンサルティング等を行う「あいち芸術福祉株式会社」のエンジェル税制の活用が認定されました。

同社は、障害者アートの国際拠点を目指し、作品を常設展示するとともに、その取組を国内外へ発信するギャラリーを新たに整備し、障害者アーティストなどの雇用を創出します。特例の活用により、同社の資金調達の円滑化が期待されます。

3.7 その他

今回ご紹介したメニューのほかにも、本県は都市再生分野として「エリアマネジメントの民間開放」（全国展開措置済）、農業分野として「農業委員会と市町村の事務分担」、「農家レストランの農用地区内への設置」（全国展開措置済）、「保安林の指定の解除手続期間の短縮」（全国展開措置済）、医療分野として「オンラインによる服薬指導」（全国展開措置済）、外国人分野「家事支援外国人材の受入れ」といった様々な特例を活用しています。

4. おわりに

国家戦略特区には、今回ご紹介しました本県で活用しているメニュー以外にも様々なメニューがあります。

国家戦略特区である愛知県では、国家戦略特区の全てのメニューを活用することができますし、新たな規制の特例措置を提案していくことも可能です。規制改革は、「こんなことができたらいいな」という、日々のちょっとしたアイデアから生まれているものがたくさんあります。民間企業の皆様の規制改革に対するニーズを、愛知県として全力でサポートさせていただきますので、規制改革の要望がございましたら、愛知県企画課まで是非、ご相談ください。

参考文献1) 内閣府ホームページより抜粋

<https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc/shiteikui.html>

公益事業への取り組み

平板測量競技会への支援

測量委員会

副委員長 吉本 三広

1. はじめに

「令和5年度 愛知県学校農業クラブ連盟平板測量競技会」が、6月7日に愛知県立安城農林高等学校で開催されました。日ごろ学習した測量技術を競い合う大会で、毎年実施されています。愛知県下連盟所属高校6校にて競い合いました。

私たち協会員は、競技審査を担当しました。天候にも恵まれたなか、トラブルや事故もなく無事終了することができました。

2. 競技会の概要

日ごろの教科学習や実習で習得した測量技術の実力を発揮し、さらに測量技術能力を高めることを目的に開催されました。

2.1 開催場所、日時

場所：愛知県立安城農林高等学校 グランドにて

日時：令和5年6月7日（水）晴れ

午前10時から午後3時10分まで

2.2 競技内容

第一次作業：平板測器による境界線測量

第二次作業：面積測定のための距離測定作業

第三次作業：図面補正、図面仕上げならびに
三斜法、三辺法による面積計算

2.3 審査

測量状況について、動作、精度等をチェックシートにより審査を行いました。

2.4 競技結果

安城農林高校、猿投農林高校、鶴城丘高校、稲沢高校、田口高校、渥美農業高校の6校による競技の結果、最優秀校1校および優秀校2校が選ばれました。

最優秀校・・・安城農林高等学校

優秀校・・・鶴城丘高等学校、稲沢高等学校

3. おわりに

全国各地で農業を学ぶ高校生は、農業クラブ員として「指導性」「社会性」「科学性」の伸長を目標に日々プロジェクト活動をはじめ、各専門分野の活動を行っています。これらの活動の成果を発表する場として、日本学校農業クラブ連盟全国大会があります。知識・技術の競い合いと同時にクラブ員相互の交流も大切な目的としています。平板測量競技会を含む農業クラブ全国大会は、農業高校の甲子園とも言われ、各都道府県の予選を通過し、出場した生徒が日本一を目指します。

当愛知県大会で最優秀校の安城農林高校は、10月24～26日に開催予定の「第73回日本学校農業クラブ全国大会熊本大会」へ出場する予定です。

最後に、競技会の準備や運営にあたり、安城農林高校農業クラブ生徒をはじめ関係者および協会会員の皆様に多大なご協力を頂きました、紙上をお借りし深く感謝申し上げます。



竹内校長先生開会挨拶



競技会風景

地図教室と測量体験学習

測量委員会
副委員長 吉本 三広

1. はじめに

「6月3日測量の日」の関連事業として、測量・地図の意義や重要性に対する国民の理解と関心を高めることを目的に、国土交通省国土地理院中部地方測量部と当協会が協働して、測量と地図に関する情報と知識を普及、啓発する運動を続けています。その一環として、小学生を対象に「地図教室と測量体験」を実施しました。

令和5年度は、稲沢市立山崎小学校（5月26日）、設楽町立田口小学校（7月13日）、春日井市立玉川小学校（10月17日）の3校で実施しました。ここでは、山崎小学校で開催した様子を紹介いたします。

2. 開催日時、場所

令和5年5月26日（金）9時40分～11時30分
稲沢市立山崎小学校 稲沢市祖父江町山崎二本木70

3. 開催内容

4年生15名を対象に、国土地理院職員による講話と協会会員による測量体験学習を行い、地図や測量について理解を深めてもらいました。

「測量体験」では「自分の一步を知ろう、歩いて距離を測ろう、測量機器を使って正確な距離を測ろう」を、児童の皆さんに体験してもらいました。

最初に10mの距離を歩数歩測し、歩幅計算しました。その後、代表児童がドッジボールを投げ、飛んだ距離を全員が歩測で測りました。次に実際に測量機器を操作し、距離の測定を体験してもらいました。



校訓 たくましく やさしく ただしく

「地図教室」では地理院職員による地理院の紹介や地図が出来るまでの仕組みや基準点、地図記号などを解り易く説明しました。特に地図記号クイズでは、見慣れない記号に興味を引き、積極的に挙手する児童も多く、「広島原爆ドームの地図記号は？」との質問もあり、大変有意義な授業でした。

4. おわりに

地理院職員による解り易い講話と、協会会員の熱心な指導のもと測量体験を通し、児童の皆さんや学校の先生にも大変喜んで頂けました。

最後に、当事業にご協力をいただきました協会会員4社8名の皆様、そして関係者の皆様に紙上をお借りし、深く感謝申し上げます。

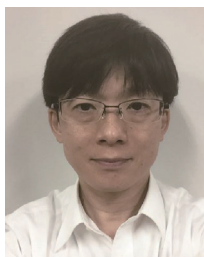


何の地図記号？地図について学ぼう



見えるかな？測量機器に触れてみよう

新社長紹介



株式会社三愛設計
代表取締役社長
わたなべ まさと
渡辺 政斗

令和5年4月に代表取締役社長に就任いたしました。よろしくお願いいたします。

弊社は昭和44年に稲沢市で創業し、建設コンサルタントとして社会資本整備に携わり地域社会の発展に貢献して参りました。

私は以前岐阜のコンサルタントで測量に携わっていましたが、その後転職してしばらく土木業界を離れていました。

業界復帰後は弊社で再び測量に従事した後、営業事務を担っていましたが、本年度から経営に携わることとなり、一所懸命に勉強の日々を過ごしています。



弊社は品質方針として「継続的改善をもって顧客の満足する良質の成果及びサービスを提供する」ことを掲げています。

継続的改善による成果及びサービスの品質向上に常に取り組み、またそれらを効率的に提供し、顧客及び社会のニーズに合わせ変革するためのDX推進を念頭に、新社長として先達が築いた礎を引き継ぎ、社業を発展させ、地域社会の発展にもより一層貢献すべく邁進していきたいと考えております。

今後とも皆様にはご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



株式会社新日
代表取締役社長
いしどう きみひこ
石堂 公彦

令和4年10月に代表取締役社長に就任いたしました。入社以来42年を経過し、様々な経験をしてきました。

私の使命は、新日を社員からも社会からもいい会社として継続的に発展可能な仕組みづくりを進めることです。

愛測協では、平成30年より理事（建設コンサルタント委員会副委員長）として活動させていただいています。

さて、この欄では、個人的な紹介をということなので、以下に簡単に紹介します。



出身地：京都府の北部に位置する京丹後市。

業務経歴：面整備を中心とした民間事業の企画、設計、許認可手続き、運営管理および官庁業務の管理・指導

保有資格：技術士（建設部門）、RCCM、土地区画整理士、1級土木施工管理技士ほか

趣味：スキー、ゴルフ、スポーツ観戦

日課：金魚、インコと観葉植物の世話

以上、ストレスをため込まず健康に留意して頑張りますので、よろしくお願いいたします。



中日本建設コンサルタント株式会社

代表取締役社長

しょうむら まさあき
庄村 昌明

令和4年12月より代表取締役社長に就任いたしました。弊社は昭和39年（1964年）創業以来、来年で60年を迎えますが、初の50代社長（57歳）となります。

これまで諸先輩方が築き上げた技術を継承しつつも、急速に変化する社会環境へ柔軟に対応できる建設コンサルタントを目指しております。

協会会員の皆様をはじめ関係各位には、引き続きのご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



人・街・自然・いきいき

中日本建設コンサルタント株式会社

〒460-0003 名古屋市中区錦 1-8-6

TEL 052-232-6032

<https://www.nakanihon.co.jp/>



入社当時を振り返りますと、私は岐阜県飛騨地方の田舎育ちのため、あまり都会には慣れておらず、初めて満員電車を見て乗車できなかったことを思い出します。また、ちょうどバブル期だったこともあり、仕事も忙しい中、しばしば夜遅くまで吞んでいたことを覚えています。最近ではコミュニケーションの取り方にも難しさを感じますが、私自身、飲みニケーションは好きなので、機会がありましたら是非お願いいたします。



株式会社名邦テクノ

代表取締役

はっとり ますみ
服部 真澄

当社は1971年創業、名邦調査事務所から名邦区画設計に、そして現在の名邦テクノに呼称を変更しております。当初は土地改良の換地を生業として、農業土木の測量設計を中心に土木設計、補償、宅建業にも拡大をまいりました。

これも偏に永年にわたり各官公庁の皆様、並びに弊社に係る全ての皆様のご指導と、ご支援の賜物と感じております。

この度令和4年10月（51期）から代表取締役に就任いたしました。

人々の「笑顔の基盤」を創造する

総合建設コンサルタント



株式会社 名邦テクノ

測量専門学校を卒業後、昭和53年に入社し名邦テクノ一筋45年であります。

昨今、目まぐるしく変わる新技術や社会情勢。前社長より将来の展望を、これから10年にあたる60期までのスローガンを「描け未来、築け基盤」とし引継ぎました。

微力ながら今後ともより一層の技術研鑽、社業発展に努力して参りますので、宜しくお願い致します。

新入社員紹介



氏名
大場 亮輔（おおば りょうすけ）
勤務先
(株)葵設計事務所
入社年月日
2022年4月1日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

測量の現場は様々で、時には道なき道を進むこともあり体力が必要です。現場でのデータを精査し成果をまとめる作業では覚えることが多く理解するのに時間がかかりますが、自身の成長を少しずつ感じています。また、上司や先輩方のご指導によってできることが増えて、とても感謝しています。

【将来の目標・夢】

今後は多くの業務に積極的に携わり、様々な経験をしていきたいです。技術的な部分の他に、地域の方々とコミュニケーションも大切にして経験値を積んで様々な目線で、業務を進められるようになりたいです。日本のインフラを支えているという誇りを忘れず、測量士の名に恥じないよう日々精進していきたいです。



氏名
山本 実佳（やまもと みか）
勤務先
アローコンサルタント(株)
入社年月日
2021年4月1日

【尊敬する人】

会社の上司の方々

【入社して感じたこと】

入社して数年が経過し、打合せから納品までの一連の流れを経験する中で、仕事に対する責任が強くなったことを実感しています。また、「地域」への貢献度が高い農業土木分野に携わり、やりがいを感じています。

一方、この責任を果たすべく、専門知識の取得ならびに基礎的な三力学の水理学・構造力学、土質力学への理解など、日々自己研磨に励み、「去年よりもできることを増やす」ことで、一年ずつ着実に成長していきたいです。

【将来の目標・夢】

私の目標は、社内外問わず信頼される技術者になることです。そのために、今は目の前にある課題に全力で取り組み、尊敬している上司の方々のご指導を大切にしようと思います。



氏名
井上 満瑠（いのうえ みちる）
勤務先
(株)石田技術コンサルタンツ
入社年月日
2022年4月1日

【尊敬する人】

ジェシー (SixTONES)

【入社して感じたこと】

私は今年で入社2年目になり、任せていただける仕事が増えました。わからないことも多く不安ですが、上司や先輩方に聞きやすい環境であるため、安心して取り組んでいます。

【将来の目標・夢】

現在は、児童遊園の改修設計業務を担当しています。児童遊園は他の設計業務に比べて取り決めが少ないため、その分担当者が様々な目線から考える必要があります。そこがこの業務の1番面白い部分であると思います。今はまだ社会人としても技術者をして未熟者ですが、これから児童遊園に限らず数多くの業務に携わり、知識や技術を吸収し社会に貢献していきたいです。



氏名
中谷 祐哉（なかに ゆうや）
勤務先
NTC コンサルタンツ(株)
入社年月日
2023年4月1日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

入社時は緊張で固くなっていましたが、上司・先輩は話しやすい方々が多く、質問がしやすいこともあり、今では働きやすい職場だと感じています。また、業務で設計に携わる中で、一つの業務を担当するには、多くの実務経験と知識が必要であると感じています。そのため、日々の作業では自分にできることを積み重ね、主体的に時間を作り、勉強するなどの自己研鑽にも励みたいと考えています。

【将来の目標・夢】

技術士などの資格を取得することで、重要なプロジェクトに携われる機会を増やし、会社や農業生産基盤の発展に貢献できる技術者になりたいと考えています。



氏名
TAMANG BIJAY (タマンビジャエ)
勤務先
(株) MSS
入社年月日
2021年4月1日

【尊敬する人】

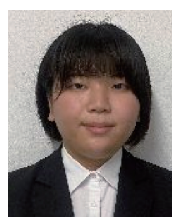
酒井社長

【入社して感じたこと】

測量専門学校を卒業し、今年で新卒入社して3年目になりました。学生生活より社会人としての生活には多くの責任があることの違いを感じました。入社後、仕事とそれ以外の言葉やマナーなど学ぶ事がまだまだ沢山あります。しかし、社内の上司・先輩方のアドバイスのおかげで仕事のやり方を進める事ができており、とても感謝しています。また、職場での皆様と仲良くなる、協力して働く、そしてより良い信頼関係を作ることがとても重要だと感じました。

【将来の目標・夢】

今自分のやっている仕事をしっかりと理解し、日頃より成長し、早く一人前の測量技術者になれるように努力していきたいと思っています。また、必要な測量士を取得し、会社に貢献できるように頑張っていきたいと思っています。



氏名
三浦 好美 (みうら このみ)
勤務先
(株) 大增コンサルタンツ
入社年月日
2023年4月1日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

入社後、先輩社員の方々の知識の豊富さを感じました。そのため、日々の勉強の大切に加えて、知識の習得と向上を重視し、積極的に学び続けていきたいと思っています。

【将来の目標・夢】

まだまだ仕事に慣れていないため、自分でできる業務を増やしていくことが目標です。

一つずつ仕事に慣れていきながら、責任を持って確実に仕事をこなすことが出来るようになりたいと思っています。将来的には、資格取得などを通じて、様々な業務に挑戦したいと考えています。



氏名
坂岡 すず寧 (さかおか すずね)
勤務先
(株) 大增コンサルタンツ
入社年月日
2023年4月1日

【尊敬する人】

母親

【入社して感じたこと】

豊富な知識や経験が必要とされる仕事であると実感しています。入社して間もないため知識も経験も未熟ですが、先輩方が親身に指導してくださるお陰で少しずつ業務の理解を深めることができます。

【将来の目標・夢】

今は上司や先輩社員の方々に頼って業務を行っていますが、いずれは業務を任せいただけるようになりたいと思っています。

そのためには、信頼されるに足る知識や経験を身に着ける必要があります。日々の業務だけでなく、研修や講演会等に積極的に参加するなどして多くのことを吸収し、学んだことを業務に還元できるよう努めます。



氏名
高橋 航 (たかはし こう)
勤務先
(株) カナエジオマックス
入社年月日
2022年4月1日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

私は、入社してから現在に至るまで、土砂災害基礎調査業務に携わってきました。当初は、会社のルールや電話対応などの慣れない環境で仕事することに精一杯で、業務に必要な知識をつける余裕がありませんでした。しかし、同じ業務に携わっている上司や先輩方に自分のわからないことを質問し、何度も丁寧に教えていただけました。そのおかげで少しずつ知識が身につき、業務の内容を理解した上で作業を行えるようになったと思います。今後は、現場や色々な業務を通して経験を積み、知識を深め、上司や先輩方、そして社会に貢献したいと考えています。

【将来の目標・夢】

土砂災害に関するプロとして、お客様に最適な提案や成果を納められる技術者となること。



氏名
村谷 真平（むらたに しんぺい）
勤務先
(株)新日
入社年月日
2022年4月1日

【尊敬する人】

会社の上司・先輩方

【入社して感じたこと】

入社1年目から道路・河川・水道等の土地開発事業に携わり、複数の分野の知識が必要で、情報を理解し整理するまでに時間がかかってしまいました。しかし、1年務めた今では経験が少しずつ活き始めるようになりました。先輩方の業務に対する姿勢とノウハウは、当初は難しく感じましたが後々活かせる場面が出てくると思うので今後も吸収していきたいです。

【将来の目標・夢】

私は道路が好きで、事故のない道路環境を整備したいという思いでこの業界に入りました。ですからまずは道路分野の資格を取り、得た知識を余すことなく活かし、事故の危険のない道路環境を作りたいと考えています。



氏名
神山 弘賢（こうやまひろたか）
勤務先
中央コンサルタンツ(株)
入社年月日
2023年4月1日

【尊敬する人】

先輩社員

【入社して感じたこと】

社内の明るい雰囲気や疑問点を聞きやすい環境から、入社前に抱えていた不安は全く感じませんでした。業務では、交通施設の配置検討など、答えのない検討も多くあり、やりがいと学びを得ながら、日々勤めています。また舗装や側溝など、普段の身近な風景も今までと違う視点で見えるようになったと感じています。

【将来の目標・夢】

短期的には、一つずつ知識を身に付け、いち早く仕事に慣れることを目標にしています。そして将来は、より快適に利用できる公共施設を提案できる技術者として活躍したいと思っています。そのためには技術士の資格取得を中期目標に、知識を深めるとともに業務経験を積んでいきたいです。



氏名
高橋 由衣（たかはし ゆい）
勤務先
(株)中部テック
入社年月日
2022年4月1日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

入社当初は、会社の雰囲気や人間関係、仕事内容など不安がありました。しかし、先輩や上司の方々が優しく丁寧に教えてくださるおかげで不安は解消され、とても働きやすい環境だと感じています。

一年たって、少しずつ仕事を任されることが増え、やりがいを感じています。

【将来の目標・夢】

建設コンサルタントの仕事は、専門的な知識や経験が重要であると感じています。今は、知識も経験も少ないため、積極的に色々な業務に携わり、一つでも多くの知識を身につけたいです。そして、一人前の技術者になるために、技術士やRCCMといった資格取得を目指して日々成長していきたいです。



氏名
鈴木 徳幸（すずき のりゆき）
勤務先
司開発(株)
入社年月日
2022年4月1日

【尊敬する人】

父、母

【入社して感じたこと】

新たな環境に身を投じて、自分の不甲斐なさを感じています。ただ測量業務は精度が求められる仕事で難しさもありますがやりがいも感じながら過ごしています。

まだ、力不足ではありますが日々精進していきたいと思える仕事です。

【将来の目標・夢】

測量の知識や技術を身に着け、仕事を任せられる人間になれるよう努力していきたいと思っています。

また、必要な資格も取得していきたいので勉強も精進していきたいです。



氏名
伊藤 快 (いとう かい)
勤務先
ニチコンサルタント(株)
入社年月日
2022年4月1日

【尊敬する人】

両親、会社の上司

【入社して感じたこと】

入社前にインターンシップでお世話になり、会社の雰囲気がとても明るい会社だと感じました。入社後も最初は緊張していましたが、年の近い先輩、気さくに話しかけてくださる上司の方々のおかげで、早く会社の雰囲気に馴染むことができました。

【将来の目標・夢】

今年で2年目になり、一番の目標は自分が班長として現場をこなしていけるように、技術を磨いていくことです。また、担当する仕事の幅を広げていくために、将来的には3次元技術も積極的に身につけていき、ドローン等の資格も取得していきたいと考えています。



氏名
高田 雄登 (たかだ ゆうと)
勤務先
日本工営都市空間(株)
入社年月日
2023年4月1日

【尊敬する人】

両親、会社の先輩方

【入社して感じたこと】

大学4年間GISを学び続け、学んだことを活かして社会に貢献したいと考え入社しました。入社2か月目からGISを業務で使い始め、現在では主担当として数多くのデータを構築し、日々やりがいを実感しています。また、3次元データの利活用にも関心を持ち始め、先輩方が楽しみながら取り組む姿を見ると、私も早く業務に携われるような知識や技術を身につけたいと常々感じます。

【将来の目標・夢】

入社後すぐの目標であった「自分のやりたいことを見つける」は達成したので、そのやりたいことを実現させるために測量士や技術士といった資格を取得し、着手から納品までの業務を円滑に進められる一技術者として成長していきたいです。



氏名
犬飼 佳菜絵 (いぬかい かなえ)
勤務先
(株)名邦テクノ
入社年月日
2023年4月1日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

新しい環境で不安な日々でしたが、丁寧に教えてくださる上司や先輩方、社内の聞きやすい雰囲気のおかげもあり、とても成長できる会社であると感じました。

まだまだ知識も経験も乏しく、わからないことばかりではありますが、日々の業務を通してより多くの知識を身に付け、会社や社会に貢献できるよう、成長していきたいと思います。

【将来の目標・夢】

安心して業務を任せられるような人材になることを目標に、一つ一つの業務に責任を持って取り組んでいきたいです。また、必要な資格の取得に励みつつ、積極的な設計技術の修得に努めていきます。



氏名
松田 悠司 (まつだ ゆうじ)
勤務先
(株)名邦テクノ
入社年月日
2023年4月1日

【尊敬する人】

両親

【入社して感じたこと】

入社して感じたことは上司の方々の知識の量の多さでした。大学を通じて学んでいましたが、仕事で使うものはもっと幅広く深い知識でした。仕事をやりながら、一度やったことは一生忘れないぐらいの気持ちで覚えていきたいと思っています。

【将来の目標・夢】

将来の目標は一人前の技術者になることです。そのために言われた仕事をただこなすだけではなく、全体を把握したり、一歩先を考えて仕事をしていきたいです。また、受験資格を得たら、すぐに技術士やRCCMなどの資格を取得できるように日々努力します。

「新技術への取り組みと将来への夢」

——若手・中堅技術者からの投稿



氏名
松原 峻太(まつばら しゅんた)
勤務先
NTC コンサルタンツ(株)
中部支社 技術部

私は、学生時代に勉強した農業土木の知識を直接的に発揮できる職場として、建設コンサルタント業界への入社を決めました。

現在は入社8年目となり、土地改良事業の様々な工種の調査・計画・設計に主体的に携わっています。その中で、調査及び設計へのUAV（ドローン）の積極的な活用に取り組んでいます。3年前に民間の操縦技能ライセンスを取得、社内でUAVの機体及び撮影した画像を編集するSfmソフトを購入してから、様々な現場でUAVの活用を模索してきました。UAVの用途としては、上空からの施設の全景写真の撮影、建屋や頭首工等の背の高い構造物に対して、特別な仮設等を用いない近接撮影等がメインになりますが、私は、令和3年度にフィルダム堤体を対象として、測量技術及び診断技術について、従来手法とUAVを用いた手法の比較を行い、適用性を検討する業務に携わりました。測量分野に関しては、既に様々な現場でUAVの導入が進んでおり、この業務の中でも一定の適用性を確認することができました。診断技術に関しては、一般的な可視カメラでの撮影に加えて、UAV搭載の赤外線カメラでの撮影を行い、フィルダム堤体の表面温度を計測・可視化することで、漏水により湿潤化している箇所の特定を試みました。その結果、試験的に設けた湿潤部は、比熱の差により標準部と比較して温度が低下しており、赤外線カメラが捉えた熱画像上で湿潤部を特定することに成功しました。

今後は設計業務に関しても、省力化・設計成果の明確化等を目指し、UAVの積極的な活用を検討していくと共に、技術的に成長し、発注者から頼られる技術者になりたいと思っています。



氏名
吉村 智彦(よしむら ともひこ)
勤務先
(株)MSS
技術部 3D課

私はMSSに入社して7年目になります。測量という仕事に入社以来携り、多少なりとも業務を通して社会や人の役に立てていることが実感でき励みになります。

弊社では、基準点測量、水準測量、路線測量、工事測量、3次元測量等を入社間もない頃から経験させてもらうことができ、多くの技術や知識を身につけることができます。私もこの6年間で社長、上司、先輩方のサポートの下で成長することができました。今では私にも多くの部下や後輩達ができ、指導・サポートする立場となりコミュニケーションの大切さを改めて感じています。

近年ではI-Constructionをはじめとする測量機器が進化する中で、MSSでは地上型レーザスキャナーで多くの業務を行っています。3次元測量のメリットは従来と比べて複雑な地形でも測量でき、短時間で数万点もの点データを計測できるので測量時間が短縮できます。また、対象物に近づくことなく作業出来るので安全性も確保できます。今後はUAVやMMSと併せて使用することで更なる高精度化・効率化を目指していかなければなりません。その為にも私たち技術者が常に新しい技術や知識を身に付けることが必要となるので、日々努力し学んでいきたいと思っています。



氏名
中村 竜平(なかむら りゅうへい)
勤務先
(株)大增コンサルタンツ
空間計測部

【やっぱり一日一日、着実に頑張ろうかな】

猫も杓子も効率化・コスパ・DX推進・・・たしかにどれも念頭に置き、意識することで、技術者としての成長を加速させることは間違いありません。

しかし作業プロセスにおいては自らが納得して行うことがとても大切です。良くも悪くも腹落ちして行った作業は、10年後20年後まできちんと記憶に残り、作業の良し悪しを人に説明できるよい根拠になります。

ちょっと気をつけたいのは、本に書いてある通り、先輩に言われた通りに動いて、あまり自分で考えずに行った作業については、そのときはクリアできるのですが、なぜそう動いたかが記憶に残りにくいので、累積技術力としてはちょっと物足りません。

いつの時代も変化が訪れます。その変化に取り残されないために、きちんと納得して仕事をするのが結局は近道であり、必要に応じた効率化もでき、本質を見る目が養われることで、時代の変化にも対応できていると思っています。

そんな気持ちで仕事を行い、あっという間にもう50歳に差し掛かりそうな年齢となりました。

これからも原理原則を思い返しながらか、考え方が化石とならないように、若手社員の漲る波動から刺激を受けつつ、諸先輩方の挑戦をマネしたりして、そして同僚たちと切磋琢磨して、今日も元気に仕事が出来て体で生んでくれた母に感謝して、一日一日を着実に頑張ろうと思う今日この頃です。



氏名
村上 信賢(むらかみ のぶたか)
勤務先
(株)カナエジオマチックス
建設コンサルタント事業部

私は大学卒業後、測量会社で6年間、測量技術者として従事したのち、令和3年に(株)カナエジオマチックスに入社いたしました。入社後、建設コンサルタント事業部調査グループに配属され、用地測量、災害復旧測量、施設台帳作成、交通量調査等、前職の測量業務だけでなく様々な業務に携わってきました。

前職では民間発注の測量業務を主に行っており、公共測量についてはほぼ未経験の状態からのスタートでしたが、図面や成果品の作成の仕方など「測量という同じ仕事でもこれだけ勝手が違うのか」と困惑するばかりでした。様々な方の助力もあり、現在では主任技術者として、業務の計画準備や発注者との協議、現地での測量など、業務全般にわたって携っています。これまでに様々な業務の経験を通して、自身の技術者としてのスキルアップを実感しており、日々仕事にやりがいを感じています。

また、近年の測量技術の進化のスピードはすさまじいものがあり、時代の流れに乗り遅れないよう、新しい技術を身に付け、現地状況や業務目的に合わせた測量手法の選定、新技術の活用を行っていく必要があると感じています。測量のみならず、計測や設計など幅広い知識を身に付け、技術者としてのモチベーションを保ち、発注者から信頼を得られるよう日々精進してまいります。

「自分にできることを一つずつ、日々成長」をモットーに、現在の置かれた環境への感謝を忘れず、一日一日を大切に生きていきたいと思っています。



氏名
中根 有弥 (なかね ゆうや)
勤務先
信栄測量設計(株)
技術部

高校時代に測量がやってみたいと興味を持ち、専門学校に進学し、平成20年に信栄測量設計株式会社に入社しました。気づけばもう15年が経ち、今では中堅の領域となってきました。

その間、測量全般にかかわり、基準点測量、水準測量から道路をはじめ公共工事にかかわる路線測量・現地測量および用地測量等さまざまな業務に携わってきました。

私は測量という職業は大変ではありますが、とても面白く誇りを持っています。なぜなら、測量は社会基盤であるインフラ事業の中での基盤であると考えているからです。測量を行い、設計をし、施工して物が出来上がる。自分が測量した場所に、新しい道路や橋ができるのを見るたびに何とも言えない達成感や幸福感に包まれます。

今後も測量の知識、技術を取得し測量を通じて少しでも社会貢献できるよう努めてまいります。



氏名
板倉 洋介 (いたくら ようすけ)
勤務先
(株)新日
技術部

私は、土木コンサルタント業界に入り、道路設計を中心に従事し、約7年経過しました。業界に入るきっかけは、高速道路の複雑なランプ線形や、ランドマークとなるような橋梁などを見て、自分も誇れるような事業に携わりたいと思ったことです。

弊社、新日は、『奉仕に徹し一歩、一歩、…また一歩』を経営理念に掲げており、私自身もこの理念に沿って、堅実に業務を進めるよう心がけています。

主担当者として設計した路線や、道路付帯施設などが供用されており、家族や友人と近隣を通行した際には自慢しております。供用している施設は上記に示したような目立つものではありませんが、地域の活性化や自然災害の防止、減災など、だれかのためになっていることを誇りに思います。また、これからも、そうあり続けてほしいと願っております。

今後はDX化に伴う三次元データの活用や、3D CADなどの新技術に対応できるよう、新技術の取得を目指しております。また、それらを活用することで、設計時における検討漏れ、施工時に不測の事態が生じない様な施工検討、災害時の迅速な復旧などに期待しております。

設計する施設の安全性は人命にかかわる重要な施設なので、一歩、一歩、着実に成長し、高い技術力を有する技術者になれるよう、日々、精進していきたいと考えています。



氏名
辻田 哲也(つじた てつや)
勤務先
(株)中部テック
設計部

【新しい技術への対応】

私は大学時代、土木工学を専攻し学んでいました。大学卒業後は、株式会社中部テックに入社し、測量業務を7年、現在では設計業務(4年目)に従事しています。

大学生の当時、とある教授の「技術者と名乗るなら、常に学び続けなければならない」という言葉が印象に残っています。これを聞いた私は、「資格試験もあるし、当たり前のことではないか」と思っていました。

しかしながら、実際に業務に携わり、資格試験の勉強は勿論のこと、既存技術の勉強(大学時代に学んだことは基礎の基礎であり、素人に毛が生えた程度の知識だった)、そして最新技術の勉強も必要で、今はその言葉に納得しています。

それは入社4年後のある時、測量部に所属していた私にドローンを使った写真測量業務を任されました。担当業務が増え、勉強が疎かになっていた私は、「UAVやレーザースキャナの勉強は誰かに教わればいいや」と後回しにしていました。今思えば、難易度が特に高いわけではないのですが、当時の私にはUAVの知識もなく不安が一杯でした。

既存の技術については、先輩社員から学ぶこともできますが、最新技術については皆が同じスタートラインであり、自ら意欲的に学ばないといけないことに気づきました。

この経験から、最新技術や基準を少しずつでも目を通し情報収集に努めるよう心掛けています。

前述の通り、現在では設計業務を担当していますが、測量技術の勉強も疎かにすることなく、設計・測量とマルチに活躍できる技術者を目指したいです。



氏名
杉本 直也(すぎもと なおや)
勤務先
日本工営都市空間(株)
地理空間情報部

学生の頃、環境に配慮したまちづくりを志し、ペDESTリアンデッキを地区全体に広げ、上層一帯に芝生、樹木を配置し二層に分けたまちづくりを設計した頃が懐かしく、今は測量の分野に携わらせていただいています。

社会人1年生の頃は、主に建築するにあたっての法規制調査を。その後は、用地測量を主体とし、東日本大震災後からは、被災市街地の土地区画整理事業に管理・主担当して携わりました。

1日も早い復興を！1日も早いまちびらきを！と、計画・測量・J V・補償が同じ目標に向かってワンチームで業務を担えたことは誇りです。が、海が綺麗に見える眺望の良い現地を引継ぎした地権者から「今は海を見たくないんだ」と仰っていた事が12年を経った今でも強く残っております。

ハード面は、当時より高度な技術で完工できますが、ソフト面では、被災地には人が中々戻らず、考え続ける事が多く、今もまだ、被災地を襲った当時の津波動画を視聴し“復興とは”と何か出来たことはなかったのか、出来たのではないかと感じます。

昨今、社会人一年目に行っていた業務・学生の頃に取り組んでいた事が繋がりを持ち始め、驚きと環境に感謝しております。

今、携わらせていただいている事だけで満足することなく、測量・空間情報技術で公共の福祉を追求します。

協会活動報告（令和4年度～令和5年度上半期）

愛測協事務局

【令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）】

1. 主な会議開催状況（総会、理事会、委員会）

1) 第49回定時総会

日 時 令和4年5月13日

場 所 ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋

議 題 （全議案承認）

第1号議案 令和3年度事業報告について

第2号議案 令和3年度収支決算承認について

第3号議案 令和4年度事業計画について

第4号議案 令和4年度収支予算について

第5号議案 役員改選について

久松総務委員長の司会により今村会長の挨拶、石堂理事を議長に選出し、第1号議案から第5号議案まで審議が行われ、各議案とも原案通り承認された。

総会閉会后、記念講演会が開催された。

テーマ 愛知県の建設事業について

講 師 愛知県建設局土木部建設企画課長

佐藤 正裕 様

2) 理事会

第1回 令和4年4月26日（ウイルあいち）

①令和3年度収支決算について

②第49回定時総会について

第2回 令和4年6月23日（法研中部）

①定例勉強会について

②「測量の日」講演会、50周年について

第3回 令和4年7月28日（法研中部）

①定例勉強会について

②各委員会報告について

第4回 令和4年9月7日（ナカトウ丸の内ビル）

①各委員会報告について

②定例勉強会について

第5回 令和4年11月25日（ウインクあいち）

①各委員会報告について

②賀詞交歓会について

第6回 令和5年2月28日

①「測量の日」記念講演会について

②令和4年活動報告及び収支概算決算

第7回 令和5年3月29日

①令和5年度の事業計画（案）及び収支予算について

②50周年事業について

3) 委員会

i) 総務委員会

第1回 令和4年6月28日

①定例勉強会について

第2回 令和4年9月30日

①全員研修会について

②「測量の日」記念講演会について

第3回 令和4年12月13日

①営業研修会について

②「測量の日」記念講演会について

ii) 広報委員会

第1回 令和4年7月7日

①「方位」について

②要望活動について

第2回 令和4年10月5日

①「方位」について

iii) 測量委員会

第1回 令和4年7月11日（対面web併用）

①各活動詳細について

②測量競技会・地図教室について

iv) 建設コンサルタント委員会

第1回 令和4年4月21日（対面web併用）

①各A・I事業活動について

第2回 令和4年5月27日（対面web併用）

①各A・I事業活動について

第3回 令和4年7月29日（対面web併用）

①シビルエンジニアA・IIについて

②アソシエーションA・IIについて

第4回 令和4年8月23日

①シビルエンジニアA・IIについて

②アソシエーションA・IIについて

第5回 令和4年9月29日

①シビルエンジニアA・IIについて

②アソシエーションA・IIについて

- 第6回 令和4年11月1日
 - ①アソシエーションA・IIについて
- 第7回 令和4年12月15日
 - ①アソシエーションA・IIについて
- 第8回 令和5年1月12日
 - ①アソシエーションA・IIについて
- 第9回 令和5年3月10日
 - ①テクノアイについて
 - ②各事業活動の反省と今後に向けて

v) 危機管理委員会

- 第1回 令和4年4月22日 (web)
 - ①委員会活動について
- 第2回 令和4年5月26日
 - ①委員会活動について
 - ②中部地区災害協定について
- 第3回 令和4年7月13日 (web)
 - ①災害復旧等関連業務研修会について
 - ②中部地区応援協力に関する協定
- 第4回 令和4年8月26日 (web)
 - ①中部地区応援協力に関する協定
 - ②災害復旧等関連業務研修会について
- 第5回 令和4年10月7日 (web)
 - ①災害復旧等関連業務研修会について
- 第6回 令和4年12月9日 (対面web併用)
 - ①BCPに関するアンケートについて
 - ②災害復旧等関連業務研修会アンケート結果

2. 主な事業活動状況

1) 監事による会計監査

令和4年4月25日、令和3年度の会計及び業務について藤本、長谷川両監事により監査が実施された。

2) 要望活動の実施

- ①令和4年5月31日、正副会長が愛知県 道浦建設局長はじめ幹部へ『協会の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。
引き続き、6月初旬に、全会員が25班に分かれ県内全発注機関に対し、同旨の要望活動を実施するとともに、委託業務に係わる前払金制度未導入の市町村に導入を要望した。併せて、テクノアイ20号を配布した。
- ②令和4年7月1日、正副会長及び総務委員長が、愛知県建設局長、都市・交通局都市基盤部長、技監、土木部長、建設企画課長、用地課長へ久保田、杉浦、佐藤、飛田顧問の同席を得て、『協会の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。

- ③令和4年7月19日、20日に会長、両副会長及び総務委員長が全建設事務所長を訪問し、同旨の要望活動を実施した。
- ④令和4年8月29日、公明党愛知県本部主催の「公明党愛知県本部 政経懇談会」に会長、青木副会長が出席し、地方自治体への繰越制度の活用及び債務負担行為（ゼロ債務含む）の積極的な活用の浸透と対応拡大の支援強化、三次元管内図の円滑な整備に向け、予算の確保と平準化をお願いするとともに、地形条件や作業量等を踏まえた適切な仕様及び工期設定に加え、インフラを含めた道路台帳の三次元化の整備について要望した。
- ⑤令和4年9月5日、自由民主党愛知県支部連合会主催の「自民党愛知県連との懇談会」に会長、青木副会長が出席し、国に対して業務履行の平準化を進めるために地方自治体への繰越制度の活用及び債務負担行為（ゼロ債務含む）の積極的な活用の浸透及び対応拡大への支援強化について、また、国及び地方自治体に対しても「地域業者の受注機会の確保」、「適正な履行期間の設定・実施時期の平準化」、「技術者等の就労環境の改善」等を強く要望した。

3) 測量競技会の後援

令和4年6月8日、県立安城農林高等学校で開催された愛知県学校農業クラブ連盟（県内農業高校測量科7校加盟）主催の測量競技会県大会を後援、協賛した。

当協会は、審査員7名を派遣し、6チームが参加した測量競技の審判・採点を行い、競技大会をバックアップした。また、最優秀校及び優秀校に対し、当協会の会長表彰を行った。

4) 災害緊急時協力体制のPR活動の実施

令和4年6月中旬に、全建設事務所及び港務所へ各地区の正副幹事会社が訪問し、愛知県知事との災害協力に関する協定に基づく当協会の体制をPRした。

5) 地図教室（測量の日記念行事）の実施

国土地理院中部地方測量部と合同で、地図教室として小学校児童に測量の体験学習を行った。

中部地方測量部は、出前授業で「地図が出来るまで」を講演、その後、協会会員による「測量体験学習」を実施し、令和4年6月21日に上鷹見小学校（豊田市）、9月6日に西広瀬小学校（豊田市）及び10月14日に御作小学校（豊田市）の3校で、併せて29名の3、4年生を対象に開催した。

6) 災害等緊急時における連絡模擬訓練

- ①令和4年8月26日、名古屋市との災害協定に基づき、(一社)名古屋市測量設計業協会と合同で名古屋市緑政土木局主催の情報伝達訓練に参加した。
- ②令和4年9月7日、愛知県との災害協定に基づき、災害等緊急時における連絡模擬訓練を実施し、県内広域で大規模地震が発生したとの想定のもと、第1報で会員の安否確認の後、会長を本部長とする災害対策本部を設置し、第2報で情報伝達、出動可能な技術者数の把握などの訓練を実施した。

7) 災害復旧等関連業務研修会の開催

- 月 日 令和4年10月20日
場 所 ウィンクあいち及びオンライン形式
参加者 31社71名(内オンライン 43名)
テーマ① 「協会BCPについて」
講 師 危機管理委員会 委員長 小中 達雄
テーマ② 「災害復旧等関連業務の全体の流れ、留意点について」
講 師 危機管理委員会 委員 河 正根
テーマ③ 「災害復旧等関連業務の事例紹介について」
講 師 危機管理委員会 副委員長 早川 正喜
テーマ④ 「研修会内でのアンケート結果を元にしたパネルディスカッション」

年々増加する激甚災害や今後発生が予想される大規模災害に備え、会員の災害復旧等関連業務への対応力向上と技術継承の課題に対応するべく災害復旧等関連業務を題材として、実務担当者を対象とした研修会を対面及びオンラインで開催した。

8) 愛知県建設局との定例勉強会

- 月 日 令和4年10月26日
場 所 ナカトウ丸の内ビル
出席者 愛知県建設局土木部建設企画課
課長 佐藤 正裕 様 始め 22名
協会 今村会長始め 18名
テーマ A テクリス実績に登録できない新技術の企業リストについて
B 評価点について
C 発注・工期・入札について
D 橋梁業務関連
E その他

愛知県建設局本庁及び各建設事務所の代表をお迎えし、県行政の方針、測量設計業者への要望等をお聞きし、ウィークリースタンスをはじめ、委託業務遂行上の疑問点や改善点など幅広く意見交換を行った。

9) シビルエンジニアA・I

- 月 日 令和4年10月28日
場 所 愛知県新城設楽建設事務所
参加者 21名

建設事務所職員の方々と会員各社の技術者との意見交換会を開催し、9回目となる今年度は工程管理、照査、コミュニケーション及びナレッジマネジメントをテーマに発注者、受注者がそれぞれの立場で、率直な意見交換を行った。

10) 「テクノアイ」、「方位」の刊行、配布

令和3年度に測量委員会が実施した用地講習会、測量研修会及び危機管理委員会の活動報告を取り纏めた「テクノアイ」20号を刊行(1,200部)し、6月に発注機関等を中心に配布した。10月には、機関誌「方位」45号を刊行(2,000部)国、県、市町村など発注機関へ配布した。

11) コンプライアンス講習会(独占禁止法順守講習会)

- 月 日 令和4年11月14日
場 所 ホテル名古屋ガーデンパレス
テーマ① 「独占禁止法の概要」
テーマ② 「インボイス制度に関連して独禁法等で問題となる行為について」
テーマ③ 「パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージについて」
講 師 公正取引委員会事務総局中部事務所
経済取引指導官 勝上 一貴 様
参加者 32社47名(全体271名)

独占禁止法等の法令順守の徹底を促すため、(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部、(公社)全国上下水道コンサルタント協会中部支部、(一社)中部地質調査業協会、(一社)日本補償コンサルタント協会中部支部及び当協会の5協会共同により、独占禁止法順守に関する講習会を3年ぶりに開催した。

12) 測量研修会等に講師を派遣

- 愛知県建設局等からの依頼に応じて、測量や用地実務等についての研修会に講師を派遣した。
受講者は、県職員及び事務所管内の市町村などの担当職員が中心であった。
○建設技術研修会

県建設企画課の依頼により、県及び市町村職員を対象とした「測量設計業務委託監督基礎講座」に講師を派遣し、測量概論と最新の測量技術について講義を行った。

月 日 令和4年6月14日

場 所 愛知県自治センター（オンライン方式）

参加者 71名

○特殊車両通行許可申請審査業務研修会

県道路維持課の依頼により、特車審査事務を担当する県、市町村職員、道路公社職員に対して許可制度の概要や審査実務について講義を行った。

月 日 令和4年7月26日

場 所 愛知県西三河総合庁舎 大会議室

参加者 30名

○測量実習研修会

国土交通省中部地方整備局中部技術事務所の依頼により、国土交通省中部地方整備局職員を対象に「測量概論」の講義と「トータルステーション」「水準測量」「ドローン空撮」「レーザスキャナー」による観測・DXセンター3次元画像の扱い方講義を行った。

月 日 令和4年9月30日

場 所 国土交通省中部地方整備局

中部技術事務所

参加者 26名

○測量技術講習会

①第1回愛知県一宮建設事務所講師派遣

月 日 令和4年10月18日

場 所 愛知県一宮建設事務所

参加者 21名

②第2回愛知県海部建設事務所講師派遣

月 日 令和4年10月20日

場 所 日光川河川防災ステーション

参加者 18名

③第3回愛知県東三河建設事務所講師派遣

月 日 令和4年11月2日

場 所 豊橋公園駐車場

参加者 25名

○豊田市建設技術職員研修

月 日 令和4年11月10日

場 所 千石公園（豊田大橋下）

参加者 9名

○用地事務講習会

①第1回愛知県知多建設事務所講師派遣

月 日 令和4年10月25日

場 所 愛知県知多建設事務所

参加者 32名

②第2回愛知県尾張建設事務所講師派遣

月 日 令和4年10月31日

場 所 愛知県尾張建設事務所

参加者 25名

13) 全員研修会の開催

月 日 令和4年11月25日

場 所 ウィンクあいち

参加者 42社60名（内オンライン16社21名）

テーマ① 全測連中部地区協議会・愛測協会務報告

テーマ② あいちの河川と海岸（ハード対策）

講 師 愛知県建設局河川課改修グループ

課長補佐 柴田 栄作 様

テーマ③ アジア競技大会・アジアパラ競技

大会ってどんな大会！？

講 師 愛知県スポーツ局

アジア・アジアパラ競技大会推進課

課長 杉山 直樹 様

毎年開催している全員研修会を対面参加とオンライン形式の両方で開催した。

14) 愛知県i-Construction推進協議会へ委員を派遣

愛知県では、県の実情を踏まえた施策としてi-Constructionを推進するためICTや新技術の現場導入などを検討し、建設現場における生産性向上を目的に愛知県i-Construction推進協議会を平成30年8月1日より立ち上げて協議を進めており、当協会から理事を委員として派遣し、今年度は11月29日協議会議論に参画した。

15) アソシエーションA・I

月 日 令和5年1月26日

場 所 現地研修：名古屋津島線バイパス整備

（七宝工区）工事箇所

屋内研修：七宝産業会館

対象工事 道路改良工事（七宝工区）

参加者 74名（内、協会21名）

発注者、施工者、設計者が一堂に会して、技術力の向上および三者間の連携を図り、愛知県のインフラ整備に貢献することを目的に、海部地区にて愛知県海部建設事務所及び津島土木研究会の三者で、現場および屋内研修を実施した。

16) 賀詞交歓会

月 日 令和5年1月17日

場 所 名古屋クレストンホテル

知事、県建設局長始め建設局幹部の方々、藤川政人参議院議員や顧問の先生方をお迎えして、会員120余名が参加し盛大に新年を祝い、交流を深めた。

17) 他測量設計業協会との次世代交流会

月 日 令和5年2月14日
場 所 ホテルグランヴェール岐山
出席者 石川測協：磯野副会長始め12名、
岐阜測協：市橋副会長始め11名
愛測協：山本部長始め8名

愛知県・石川県・岐阜県測量設計業協会3県合同次世代交流会を開催し、測量設計業発展のために次世代経営者が取り組むべきことや考え方および、今後の広域的な連携について意見交換会を行った。

18) 営業研修会

月 日 令和5年2月16日
場 所 ホテル名古屋ガーデンパレス
参加者 41社69名
テーマ① 国家戦略特区～愛知県の取組や活用で
きるメニューについて～

講 師 愛知県政策企画局企画調整部企画課
課長補佐 佐藤 令奈 様

テーマ② 令和5年度「測量の日」の案内及び
『最近の補助金』について

講 師 総務副委員長 森 康彰
様々なテーマで経営者及び営業担当者を対象とした
営業研修会を開催し会員相互の親睦を深めた。

19) あいち建設みらいサロンへの参加

異業種や異世代間がフランクな話し合いにより相互理解を深め、建設分野の魅力発信と若手人材の育成を目的として、平成25年度に愛知県が中心となり設立した「イブニングサロン」が、令和4年度より名称を建設分野のみらいを担う若手人材の育成を行うことを明確にするため「あいち建設みらいサロン」に変更し開催した。

今年度は、7月20日豊橋技術科学大学で柳生川地下河川整備工事現場にて開催した。8月9日大同大学、9月21日中部大学、11月1日愛知総合工科高等学校、11月17日名古屋工業大学、11月25日名古屋工業高等学校、12月6日豊田工業高等専門学校の建設系専攻の学生・生徒等を対象として開催し、コンサルタント業務の具体的な内容などについて学生・生徒と行政機関、産業界の若手技術者が活発な意見交換を行った。

当協会からは会員企業社員が参加し、学生や行政・他団体の技術者などとの交流を深めた。

【令和5年度（令和5年4月～令和5年8月）】

1. 主な会議開催状況（総会、理事会、委員会）

1) 第50回定時総会

日 時 令和5年5月18日
場 所 ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋
議 題 （全議案承認）

第1号議案 令和4年度事業報告について

第2号議案 令和4年度収支決算承認について

第3号議案 令和5年度事業計画について

第4号議案 令和5年度収支予算について

久松総務委員長の司会により今村会長の挨拶、服部理事を議長に選出し、第1号議案から第4号議案まで審議が行われ、各議案とも原案通り承認された。

総会閉会后、記念講演会が開催された。

テーマ 新年度の展望

～委託業務における最近の話題～

講 師 愛知県建設局土木部建設企画課長
佐藤 正裕 様

2) 理事会

第1回 令和5年4月28日

①令和4年度事業報告及び収支決算

②新顧問について

第2回 令和5年6月28日

①局長要望について

②災害対応について

第3回 令和5年8月2日

①定例勉強会について

②災害対応問題点について

3) 委員会

i) 総務委員会

第1回 令和5年7月11日

①定例勉強会について

②災害対応問題点等について

ii) 広報委員会

第1回 令和5年5月30日

①「方位」について

②要望活動について

iii) 測量委員会

第1回 令和5年4月18日（対面web併用）

①各活動詳細について

②測量競技会・地図教室について

iv) 建設コンサルタント委員会

第1回 令和5年4月20日

①各A・I事業活動について

- 第2回 令和5年6月8日
 ①シビルエンジニアA・IIについて
 ②アソシエーションA・IIについて
- 第3回 令和5年7月27日
 ①シビルエンジニアA・IIについて
 ②アソシエーションA・IIについて
- 第4回 令和5年8月31日
 ①シビルエンジニアA・IIについて
 ②アソシエーションA・IIについて

v) 危機管理委員会

- 第1回 令和5年4月21日
 ①3次元計測技術の対応・実施状況調査について
 ②中部地区災害協定について
- 第2回 令和5年5月26日
 ①協会BCP（風水害編）について
 ②UAVアンケートについて
- 第3回 令和5年7月12日（一部web）
 ①会員BCP・UAVアンケート結果
 ②災害対応問題点について
- 第4回 令和5年8月25日
 ①災害対応問題点について
 ②災害復旧等関連業務研修会について

2. 主な事業活動状況

1) 監事による会計監査

令和5年4月28日、令和4年度の会計及び業務について藤本、長谷川両監事により監査が実施された。

2) 要望活動の実施

- ①令和5年6月8日、正副会長が愛知県 中島建設局長はじめ幹部へ『協会の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。
 引き続き、6月初旬に、全会員が25班に分かれ県内全発注機関に対し、同旨の要望活動を実施するとともに、委託業務に係わる前払金制度未導入の市町村に導入を要望した。併せて、テクノアイ21号を配布した。
- ②令和5年6月27日、正副会長及び総務委員長が、愛知県建設局長、都市・交通局都市基盤部長、技監、土木部長、建設企画課長、用地課長へ久保田、藤原、鈴木、杉江顧問の同席を得て、『協会の更なる活用と受注機会の拡大』を要望した。
- ③令和5年7月21日、26日に会長、両副会長及び総務委員長が全建設事務所長を訪問し、同旨の要望活動を実施した。

- ④令和5年7月31日、公明党愛知県本部主催の「公明党愛知県本部 政経懇談会」に会長、青木副会長が出席し、業務履行の平準化を進めるために、繰越制度活用の浸透、国の取組み「債務負担行為（ゼロ債務含む）等」の発信と地域企業への若手・女性技術者の就職を加速するため、地域測量設計業者の活用拡大と育成についての環境整備の検討をお願いするとともに、地方公共団体へ災害復旧対策の優先や履行中業務の一時中止等の周知等を要望した。
- ⑤令和5年8月25日、自由民主党愛知県支部連合会主催の「自民党愛知県連 政策懇談会」に会長、青木副会長(政治連盟会長)が出席し、繰越制度活用の浸透、「債務負担行為（ゼロ債務含む）」の発信と地域企業の若手・女性技術者の就職を加速するため、地域測量設計業者の活用拡大と育成の環境整備検討をお願いし、地方公共団体へ災害復旧対策優先や履行中業務の一時中止の周知等の要望に加え、適正かつ円滑に実施し及び地域・地元企業への優遇施策を提言した。

3) 測量競技会の後援

令和5年6月7日、県立安城農林高等学校で開催された愛知県学校農業クラブ連盟（県内農業高校測量科7校加盟）主催の測量競技会県大会を後援、協賛した。

当協会は、審査員11名を派遣し、6チームが参加した測量競技の審判・採点を行い、競技大会をバックアップした。また、最優秀校及び優秀校に対し、当協会の会長表彰を行った。

4) 地図教室（測量の日記念行事）の実施

愛測協が「測量の日」記念行事の当番となり未来へ技術をテーマに講演会及び展示会を開催し、測量・設計業界に関わる技術動向や事例紹介の講演会及び最新測量機器などの展示会を開催した。

日 時 令和5年6月16日

場 所 吹上ホール 第1ファッション展示場

テーマ① 国土地理院の最近の取組

講 師 国土交通省 国土地理院 中部地方測量部
 部長 下地 恒明 様

テーマ② 最新型レーザースキャナの紹介と今後の3Dデータの可能性

講 師 (株)ニコン・トリンプル

ジオスペーシャル事業部マーケティング部
 マーケティング課

マネージャー 木村 博之 様

参加者 国及び自治体・地方公社職員、
測量設計業者等 300名

月 日 令和5年7月25日
場 所 愛知県三の丸庁舎
参加者 53名

5) 地図教室（測量の日記念行事）の実施

国土地理院中部地方測量部と合同で、地図教室として小学校児童に測量の体験学習を行った。

中部地方測量部は、出前授業で「地図が出来るまで」を講演後、協会会員による「測量体験学習」を実施し、令和5年5月26日に山崎小学校（稲沢市）、7月13日に田口小学校（設楽町）で4年生を対象に開催した。また、10月17日に玉川小学校（春日井市）で4、5年生を対象に実施予定。

6) 災害緊急時協力体制のPR活動の実施

令和5年7月21日と26日に全建設事務所へ正副会長、総務委員長が要望活動と併せて、愛知県知事との災害協力に関する協定に基づく当協会の体制をPRした。

7) 災害等緊急時における連絡模擬訓練

- ①令和5年8月25日、名古屋市との災害協定に基づき、（一社）名古屋市測量設計業協会と合同で名古屋市緑政土木局主催の情報伝達訓練に参加した。
- ②令和5年9月4日、愛知県との災害協定に基づき、災害等緊急時における連絡模擬訓練を実施し、県内広域で大規模地震が発生したとの想定のもと、第1報で会員の安否確認の後、会長を本部長とする災害対策本部を設置し、第2報で情報伝達、出動可能な技術者数の把握などの訓練を実施した。

8) 測量研修会等に講師を派遣

愛知県建設局等からの依頼に応じて、測量や用地実務等についての研修会に講師を派遣した。

受講者は、県職員及び事務所管内の市町村などの担当職員が中心であった。

○建設技術研修会

県建設企画課の依頼により、県及び市町村職員を対象とした「測量設計業務委託監督基礎講座」に講師を派遣し、測量概論と最新の測量技術について講義を行った。

月 日 令和5年6月14日

場 所 愛知県自治センター（オンライン方式）

参加者 68名

○特殊車両通行許可申請審査業務研修会

県道路維持課の依頼により、特車審査事務を担当する県、市町村職員、道路公社職員に対して許可制度の概要や審査実務について講義を行った。

9) あいち建設みらいサロンへの参加

異業種や異世代間がフランクな話合いにより相互理解を深め、建設分野の魅力発信と若手人材の育成を目的として、平成25年度に愛知県が中心となり設立した「イブニングサロン」が、令和4年度より名称を建設分野のみらいを担う若手人材の育成を行うことを明確にするため「あいち建設みらいサロン」に変更し開催した。

今年度は、8月28日 現場版あいち建設みらいサロンとして愛知総合工科高等学校の学生が参加し、枇杷島陸橋改築工事現場の見学及びコンサルタント業務の具体的な内容などについて学生と行政機関、産業界の若手技術者が活発な意見交換を行った。当協会からは会員企業社員が参加し、学生や行政・他団体の技術者などとの交流を深めた。

10月13日 椋山女学園大学、11月24日 名古屋工業高等学校、12月4日 名古屋工業大学、12月13日 豊田工業高等専門学校の建設系専攻の学生・生徒等を対象として開催予定。

総務委員会報告

委員長 久松 顕

副委員長 森 康彰

総務委員会は、主に会員皆様の資質向上と受注の増大を目的とした活動を担当しています。

1. 愛知県建設部との定例勉強会

月 日 令和4年10月26日
場 所 ナカトウ丸の内ビル
出席者 愛知県建設局土木部建設企画課長
佐藤 正裕 様 始め 22名
協会 今村会長始め 18名
テーマ A テクリス実績に登録できない新技術
の企業リストについて
B 評価点について
C 発注・工期・入札について
D 橋梁業務関連
E その他

愛知県建設局本庁及び各建設事務所の代表をお迎えし、県行政の方針、測量設計業者への要望等をお聞きし、ウィークリースタンスをはじめ、委託業務遂行上の疑問点や改善点などについて幅広く意見交換を行った。

2. コンプライアンス講習会（5団体共催）

月 日 令和4年11月14日
場 所 ホテル名古屋ガーデンパレス
参加者 32社47名（全体271名）
テーマ① 「独占禁止法の概要」
テーマ② 「インボイス制度に関連して独禁法等で問題となる行為について」
テーマ③ 「パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージについて」
講 師 公正取引委員会事務総局中部事務所
経済取引指導官 勝上 一貴 様
独占禁止法等の法令順守の徹底を促すため、
（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部、（公社）全国上下水道コンサルタント協会中部支部、
（一社）中部地質調査業協会、（一社）日本補償
コンサルタント協会中部支部及び当協会の5協会
共同により、独占禁止法順守に関する講習会を3
年ぶりに開催した。

3. 全員研修会の開催

月 日 令和4年11月25日
場 所 ウィンクあいち
参加者 42社60名（内オンライン16社21名）
テーマ① 全測連中部地区協議会・愛測協会務報
告
テーマ② あいちの河川と海岸（ハード対策）
講 師 愛知県建設局河川課改修グループ
課長補佐 柴田 栄作 様
テーマ③ アジア競技大会・アジアパラ競技大会っ
てどんな大会！？
講 師 愛知県スポーツ局
アジア・アジアパラ競技大会推進課課長
杉山 直樹 様
毎年開催している全員研修会を対面参加とオンラ
イン形式の両方で開催した。

4. 賀詞交歓会

月 日 令和5年1月17日
場 所 名古屋クレストンホテル
知事、県建設局長始め建設局幹部の方々、藤川
政人参議院議員や顧問の先生方をお迎えし、会員
120余名が参加し新年を祝い、交流を深めた。

5. 営業研修会

月 日 令和5年2月16日
場 所 ホテル名古屋ガーデンパレス
参加者 41社69名
テーマ① 国家戦略特区～愛知県の取組や活用でき
るメニューについて～
講 師 愛知県政策企画局企画調整部企画課
課長補佐 佐藤 令奈 様
テーマ② 令和5年度「測量の日」の案内及び『最
近の補助金』について
講 師 総務副委員長 森 康彰
様々なテーマで経営者及び営業担当者を対象と
した営業研修会を開催し、会員の親睦を深めた。

6. 受注状況調査の収集・分析

会員の経営体質の強化を図るため受注状況の収
集・分析及び、平素から国土交通省や愛知県の入
札制度など必要な情報の収集に努め、会員へ機会
ある毎に情報の提供を行った。

広報委員会報告

委員長 永草 新吾

副委員長 服部 真澄

副委員長 河本 啓一

広報委員会は、広く県民の皆様に測量設計業に対する認識を深めていただくための広報活動や、ホームページを通して業界の認知度向上、イメージアップを図ってまいります。会員向けには測量設計業に関するニュース、話題、協会の行事結果等を適時発信してまいります。

広報委員会での活動は、大きく三つ（要望活動・機関誌「方位」・ホームページ）あり、これらの実績についてご報告いたします。

1. 要望活動

当協会のさらなる活用と受注機会の拡大を図るため、毎年5～6月に全会員が参加して国・県・市町村の各発注機関に対して要望活動を実施しております。

今年度も全会員を25班に編成し、一斉に各発注機関を訪問し要望活動を行いました。また、受注企業の経営安定と資金繰り改善のため、前払金制度の採用についての要望も併せて実施しております。

<要望書抜粋>

当地域においても、南海トラフ地震等による地震・津波災害を始め大規模自然災害の発生が危惧される中、国と調和を図りながら、強靱化を推進しなければなりません。私ども測量設計業が果たす役割は一層大きなものになると思われます。

このような状況の中で、地域の安全・安心を守るという私ども測量設計業の使命を将来にわたって果たしていくため、地元企業が元気に活躍できる環境整備が重要であります。加えて、緊急事態対応のためにも企業が適正な利潤を確保し、経営基盤を安定させ、将来的見通しをもって労働環境の改善や人材の育成に取組む事により、「夢のある産業」としてその魅力を高め、将来にわたってその担い手を継続的に確保するという好循環を形成しなければなりません。

協会員企業は、甚大な被害を及ぼす大規模自然災害等を想定し、常日頃から測量設計の技術研鑽に努め、災害発生時における協会員企業間の情報共有、災害支援体制を整備できるよう努めております。

地域を熟知する地元企業の更なる活用・育成が緊急時における迅速な支援・活躍、ひいては安全・安

心なまちづくりと地域の活性化に重要且つ不可欠であると考えます。

是非、事業量の経常的な増額と確保をお願いすると共に、地元企業を育成するためにも「地元で出来る事は地元で・・・の認識と強い意志」へご配慮を頂き、下記の点について重ねて強く要望致したく、特段のご配慮をよろしくお願い申し上げます。

記

協会員の更なる活用と受注機会の拡大・受注額の増大

2. 機関誌「方位」

県民の皆様、官公庁の皆様、学生の皆様が知りたい、知っておきたい情報は何かと毎年熟慮し検討しておりますが、今号は「国家戦略特区」の特集を組みました。

国家戦略特区に指定されている愛知県における規制改革メニュー等の活用状況を紹介しています。

また、公益事業への取り組みでは、「愛知県農業クラブ連盟平板測量競技会」への支援、国土地理院中部地方測量部との協働による「測量の日」の関連事業として県内小中学生を対象に関催されております「地図教室」の様子を紹介しています。

協会トピックスでは、当協会会員企業で新たに社長に就任された新社長に就任の抱負、同社の取り組み等を紹介していただきました。また、前号に引き続き、学生や転職入職者向けに、会員企業の新入社員（入社3年目）及び若手・中堅技術者からの投稿を掲載しています。

3. 協会ホームページ

当協会のホームページを通じて、今後も業界の情報発信の場として、また、広報活動の一環として運用してまいりますので活用ください。

「方位」及び「協会ホームページ」については関係各位からのご意見・ご要望等をしっかりとリサーチし、内容をさらに充実させ皆様のニーズに応えていけるよう努力してまいりますので、何卒、ご支援・ご協力お願い申し上げます。

測量委員会報告

委員長 川崎 敏昭

副委員長 吉本 三広

副委員長 柴田 修身

測量委員会は、測量技術の向上と地域社会への貢献を目的とし、関係機関と調整を図り各種研修会への講師派遣や将来の測量技術者育成のための活動を行っております。

1. 測量研修会

国・県及び市町職員の測量知識の研鑽と実務体験を通じ業務の理解を目的に講師を派遣し、研修会を開催しました。

【測量】

- ・「用地概論・最新の測量技術」講義
- ・「TSの応用」中心線測量の講義及び実習

【開催日】

令和4年9月30日	中部地方整備局	26名
	(中部技術事務所)	
令和4年10月18日	一宮建設事務所	21名
令和4年10月20日	海部建設事務所	18名
令和4年11月2日	東三河建設事務所	25名
令和4年11月10日	豊田市役所	9名

【研修風景】

- ・中部地方整備局 中部技術事務所



- ・東三河建設事務所



【用地測量】

- ・「用地測量業務の流れ」

【開催日】

令和4年10月25日	知多建設事務所	32名
令和4年10月31日	尾張建設事務所	25名

2. 特殊車両通行許可申請審査業務の研修

「特殊車両通行許可制度について」

「デジタル化による新制度導入」

「特殊車両通行許可審査業務（審査業務）」

【開催日】

令和5年7月25日（10時～16時）

建設局道路維持課（愛知県三の丸庁舎）53名

3. 愛知県学校農業クラブ連盟測量競技会支援

農業クラブ連盟からの要請により、測量競技会の審査員を派遣しました。協会会員6社10名のご協力を頂き、支援を致しました。

【開催概要】

令和5年6月7日に愛知県立安城農林高等学校にて開催されました。結果など活動の詳細については、「公益事業への取組み」のページをご覧ください。

4. 小学校での地図教室

「測量の日」関連事業として、国土地理院中部地方測量部と共同で、愛知県内3校の小学校4、5年生を対象に「地図教室と測量体験」を実施しました。

【開催概要】

令和5年5月26日 稲沢市立山崎小学校

令和5年7月13日 設楽町立田口小学校

令和5年10月17日 春日井市立玉川小学校

活動の詳細については、「公益事業への取組み」のページをご覧ください。

上記活動以外にも、中部地区協議会への対応、愛知県研修会への講師派遣、地理空間情報産学官中部地区連携協議会への参加などの活動を行っています。

各活動の実施にあたっては、多数の会員企業の皆様にご協力をいただきました。紙面をお借りし感謝申し上げます。

建設コンサルタンツ委員会報告

委員長 尾藤 宜伸

副委員長 石堂 公彦

副委員長 國島 正彦

建設コンサルタンツ委員会では、愛知県(Aichi)で社会資本(Infra)整備に携わっている愛知県測量設計業協会会員の技術力向上及び地域貢献への支援を目的とした活動を展開している。

1. 令和4年度 活動報告

活動記録（シビルエンジニア A・I、アソシエーション A・I）は、協会発行の機関紙『テクノアイ 2023 Vol.21』に詳述しており、協会ホームページでも確認いただけます。

1.1 シビルエンジニア A・I

（業務の品質向上を目指す意見交換会）

受発注者が日常業務について意見交換し、円滑な業務の遂行を図ることを目指して開催した。

■日時：令和4年10月28日(金)13:30～16:00

■場所：新城設楽建設事務所 会議室

■テーマ：①工程管理について

②照査について

③コミュニケーションについて

④ナレッジマネジメントについて

■参加者：新城設楽建設事務所 原所長始め9名、愛測協12名 計21名

【研修概要】

冒頭、原所長から、後世に残る良い施設を築造するため技術者は日々切磋琢磨することが重要であり、忌憚のない意見交換を今後の業務遂行に活かしてほしいとのご挨拶の後、上記テーマについて受発注者間での活発な意見交換を行った。

コーディネーターによる概要報告後、加藤企画調整監から講評を頂き閉会した。



1.2 アソシエーション A・I

（技術力向上・連携を目指す現地研修会）

海部建設事務所、津島土木研究会、愛知県測量設計業協会の三者が一堂に会し、技術力の向上及び三者間の連携を図り、愛知県のインフラ整備に貢献することを目的とした現地研修会を開催しました。

■日時：令和5年1月26日(木)13:15～16:00

■場所：現地研修・・・あま市七宝町下田式町六反地内 名古屋津島線バイパス整備（七宝工区）工事箇所
屋内研修・・・七宝産業会館 2F 大会議室

■参加者：74名（海部建設事務所8名、津島土木研究会45名、愛知県測量設計業協会 21名）

【研修概要】

今回の研修対象となる主な工事は、名古屋津島線バイパス整備（七宝工区）工事の内、カルバート工、プレロード盛土工、中堀工法による既製杭工等です。現地研修の後、場所を七宝産業会館へ移し、施工の際確認された現場課題、実際に行った現場対応、愛測協会員による設計の考え方、さらに地域共通課題についても活発な意見交換を行いました。

本研修会を通して、設計と現場との不整合、海部地区特有の地域性について意見交換でき、今後の設計に向け大変有意義な研修となりました。



現地研修



屋内研修

2. 令和5年度の活動予定

2.1 シビルエンジニア A・I 意見交換会

知多建設事務所で品質向上に必須である①品質確保②コミュニケーション③働き方改革をテーマとして9月22日の開催に向けて、協議を進めていく。

2.2 アソシエーション A・I 現場研修会

新城設楽建設事務所及び新城土木研究会と調整し、11月8日の開催に向けた作業を進めています。しかしながら、6月2日の集中豪雨による災害発生もあり、現時点で詰めた協議ができていません。今後、建設事務所、土木研究会と研修内容を調整しながら、開催に向けて協議を進めていく方針としています。

危機管理委員会報告

委員長 小中 達雄

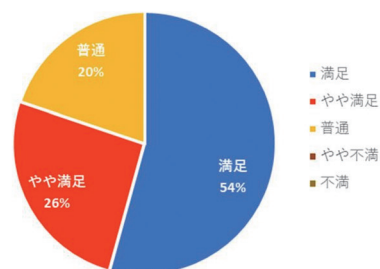
副委員長 早川 正喜

副委員長 山本 成竜

1. はじめに

危機管理委員会は、協会並びに会員の危機管理体制を強化する活動をしています。委員会のテーマを“危機管理体制の整備とBCMの確立～体制と連携の強化～”とし、主に対外関連と協会内関連に分けて活動を進めています。新型コロナウイルス感染症により委員会活動への制限もありましたが、4年目となりオンラインと対面の両立をしながら活動を継続しております。

研修会の内容について



2. 主な活動内容

2.1 対外関連の活動

会員の災害関連業務に関する技術力の向上及び継承を目的とした研修会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン形式と対面形式のハイブリット型でウインク愛知にて開催いたしました。参加者は71名と盛況で参加者からも大変好評でした。

また、内容についても災害対応に関する意識の向上が見受けられる研修会となりました。

(1) オンライン災害復旧等関連業務研修会

日 時 令和4年10月20日（木）

参加者 愛測協／危機管理委員会・会員企業各社

テーマ 「協会BCPについて」、「災害復旧等関連業務の全体の流れ、留意点について」、「災害復旧等関連業務の事例紹介について」「研修会内でのアンケート結果を元にしたパネルディスカッション」

講 師 危機管理委員会 委員長 小中 達雄
 危機管理委員会 副委員長 早川 正喜
 危機管理委員会 委員 河 正根



(2) 3県合同「災害時における中部地区県測協の応援協力に関する協定」についての意見交換会

日 時 令和4年11月11日（金）

参加者 (一社) 岐阜県測量設計業協会

(一社) 静岡県測量設計業協会

(一社) 愛知県測量設計業協会

テーマ 「協定の改定案を基にした運用規定に関するに各測協の意見等の進め方について」

令和4年11月に(一社)岐阜県測量設計業協会、(一社)静岡県測量設計業協会と3県合同で、協定に関する意見交換会を開催いたしました。この意見交換会では平成23年度に協定を締結した内容について意見を交わし、より具体的な内容に詰めていくことを目的としています。今後も意見交換と議論を重ね、より良い内容を模索してまいります。

2.2 協会内の活動

(1) 災害連絡訓練

令和4年9月7日（水）愛測協事務局において、愛知県建設企画課、9建設事務所、2港務所の担当部署及び会員の皆様にご協力いただき、災害緊急時連絡訓練を行いました。オンラインシステムを活用し、滞りなく連絡訓練を実施することができました。



会員紹介（サ行）



信栄測量設計株式会社

1. 会社概要

所在地：〒471-0024

愛知県豊田市元城町4丁目28番地

TEL：0565-31-1113 FAX：0565-31-1149

URL：<http://www.sin-ei-c.co.jp>

創立：昭和54年11月

代表者：代表取締役 高木 喜一

支店：西尾 他

2. 経営理念

“活力に満ち、広く社会に貢献し、信頼に応える”

当社は、上記のスローガンのもと、経営基盤を強化し、社員の活力と福利の増進をはかり、建設コンサルタント、補償コンサルタント、測量業務を通じて、広く社会に貢献し、信頼され、その信頼に誠実に応えていくことを、会社経営の基本的な考え方としています。

3. 事業内容



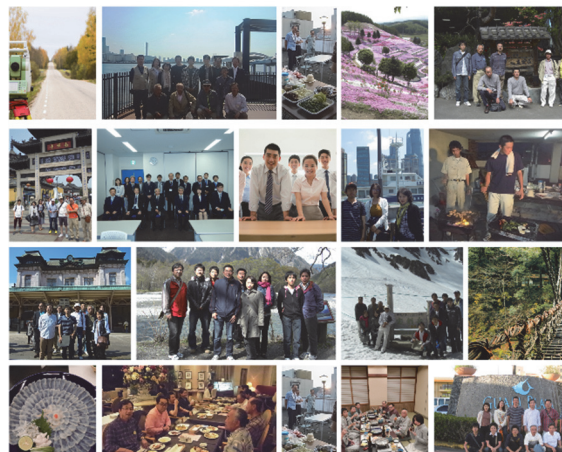
4. 当社の沿革と取組

当社は、昭和54年に現在の豊田市役所の隣にて、売上目標3000万、総勢5人で創業しました。以来、多くの先人の英断と努力に支えられ、下請

の測量業務が中心の業態から、元請の建設コンサルタント・補償コンサルタント業務まで幅広く対応できる規模にまで成長を遂げてまいりました。



当社は、早い時期から社員の福祉やワークライフバランスに着目し、社員旅行やBBQなどのイベントを企画し、一人一人との絆を大切にしています。また男女問わず様々なスタイルでの働き方が出来るよう心がけております。



i-Construction等により業界に大きな変化が起こる中、変化に対応しつつも当社のidentityを大切にし、建設コンサルタント、補償コンサルタント、測量業務を通して、広く社会と地域に貢献し、また業界が知的産業として発展することを期待しております。



1. 会社概要

所在地：〒454-0011

名古屋市中川区山王1-8-28

TEL：052-331-5356

FAX：052-331-4010

E-mail：shinnichi@shinnichi.co.jp

URL：https://shinnichi.co.jp

代表者：代表取締役 石堂 公彦

創業：1969年（昭和44年）11月

設立：1971年（昭和46年）02月

社員数：105名（令和5年7月現在）

関連会社：株式会社新日ホールディングス

新日土地家屋調査士法人

新日行政書士法人

株式会社 ミタス伊勢



（年末全員研修会・納会）

本社ビル

2. 沿革

当社は1969年11月に創業し、本年（2023年11月）で創業54年を迎えます。

1969年11月 新日測量 創業（11月6日）

1971年02月 株式会社新日調査設計 設立

1987年09月 株式会社新日に社名変更

2023年11月 創業54年

3. 事業内容

測量業を発端に不動産鑑定業、補償コンサルタント業、一級建築士事務所、建設コンサルタント業、土壤汚染指定調査機関と業務の幅を広げ、総合建設コンサルタンツとして社会資本整備に取り組んで参りました。

また、2011年3月11日に発災した東日本大震災を機に事業エリアを、名古屋を拠点とし全国に広がっています。

登録業種：建設コンサルタント業

補償コンサルタント業

測量業・不動産鑑定業

一級建築士事務所・宅地建物取引業

土壤汚染対策法に基づく指定調査機関

4. 社名の由来と経営理念

当社社名の由来は、中国の古典にあります。「苟日新 又日新」という中国古典『大学』の有名な一節で、「マコトニヒニアラタニ、ヒビニアラタニ、マタヒニアラタナリ」と読み「日に日に向上進歩する」という意味に捉えています。

当社は、総合建設コンサルタンツとして継続的な努力こそ進歩向上のために不可欠なものであるという信念に基づき、社名を『株式会社 新日』と定め、その経営理念を「奉仕に徹し、一步、一步、・・・また一步」としております。

5. 最近のトピックス

国土交通省国土地理院より表彰を受けました。

○国土地理院長表彰（令和5年度）

優秀技術者表彰：吉井弘樹（調査測量部長）

○中部地方測量部長表彰（令和5年度）

優秀業務表彰：水準測量（中京岐阜愛知地区）

今後もこのような評価を頂けるよう成果品の品質確保に取り組んで参ります。

6. おわりに

来年で創業55年を迎える当社は、「100年企業を目指して！ 新日新時代へ」をスローガンに、総合建設コンサルタントとして、建設・不動産関連事業全般に貢献して参りたいと考えています。

これからも60年、70年・・・100年と社会の様々な変化にあわせて柔軟に対応し、地域社会に貢献できる会社として継続するため不断の研鑽を続けて参ります。

紹介

顧問紹介（敬称略）

顧問団長



久保田 浩 文・（くぼた ひろふみ）

愛知県議会議員（稲沢市選出、当選7回）平成23年5月 顧問就任

■略歴	昭和28年生	
	昭和50年3月	日本大学経済学部卒業
	平成7年4月	愛知県議会議員当選
	平成13年5月	愛知県議会 企画環境委員会委員長
	平成19年5月	愛知県議会 議会運営委員会委員長
	平成20年5月	愛知県 監査委員
	平成21年10月	自由民主党 愛知県支部連合会組織委員長
	平成22年5月	自由民主党 愛知県支部連合会副会長
	平成25年5月	愛知県議会 議長
	平成26年6月	自由民主党 愛知県支部連合会幹事長
	平成27年5月	愛知県議会 中京大都市圏形成調査委員会委員長
	平成29年5月	愛知県議会 安全・安心対策特別委員会委員長
	令和2年5月	愛知県議会 人づくり・福祉対策特別委員会委員長

顧問



藤 原 ひろき・（ふじわら ひろき）

愛知県議会議員（豊川市選出、当選4回）令和5年5月 顧問就任

■略歴	昭和52年生	
	平成23年4月	愛知県議会議員当選
	平成24年5月	愛知県議会 教育文化・福祉対策特別委員会副委員長
	平成27年5月	愛知県議会 建設委員会副委員長
	令和4年5月	自民党愛知県議員団幹事長

顧問



鈴木雅博・(すずき まさひろ)

愛知県議会議員（豊田市選出、当選3回）令和5年5月 顧問就任

- 略歴 昭和54年生
- | | |
|---------|-------------------|
| 平成27年4月 | 愛知県議会議員当選 |
| 平成30年5月 | 愛知県議会 振興環境委員会副委員長 |
| 令和3年5月 | 愛知県議会 福祉医療委員会委員長 |
| 令和4年5月 | 愛知県議会 農林水産委員会委員長 |

顧問



杉江繁樹・(すぎえ しげき)

愛知県議会議員（常滑市選出、当選2回）令和5年5月 顧問就任

- 略歴 昭和42年生
- | | |
|---------|-------------------|
| 平成31年4月 | 愛知県議会議員当選 |
| 令和2年5月 | 愛知県議会 経済労働委員会副委員長 |
| 令和4年5月 | 自民党愛知県議員団副政調会長 |
| 令和5年5月 | 愛知県議会 県民環境委員会副委員長 |

役員名簿

(一社) 愛知県測量設計業協会

顧問団長	久保田 浩 文	愛知県議会議員
顧問	藤 原 ひろき	愛知県議会議員
〃	鈴 木 雅 博	愛知県議会議員
〃	杉 江 繁 樹	愛知県議会議員
会 長	今 村 鐘 年	中部復建(株)
副 会 長	青 木 拓 生	(株)拓工
〃	西 出 剛 大	(株)大增コンサルタンツ
理 事	久 松 顕	久松測量設計(株)
〃	永 草 新 吾	(株)中部テック
〃	川 崎 敏 昭	(株)カナエジオマチックス
〃	尾 藤 宜 伸	中日本建設コンサルタント(株)
〃	小 中 達 雄	日本工営都市空間(株)
〃	森 康 彰	(株)アイエスシイ
〃	服 部 真 澄	(株)名邦テクノ
〃	河 本 啓 一	(株)梶川土木コンサルタント
〃	吉 本 三 広	(株)石田技術コンサルタンツ
〃	柴 田 修 身	(株)あづま
〃	石 堂 公 彦	(株)新日
〃	國 島 正 彦	協和調査設計(株)
〃	早 川 正 喜	早川都市計画(株)
〃	山 本 成 竜	(株)愛河調査設計
監 事	藤 本 博 史	中央コンサルタンツ(株)
〃	長谷川 英 輝	公認会計士・税理士（北斗中央税理士法人）
事務局長	安 藤 賢 一	(一社) 愛知県測量設計業協会

[委員会]

総務委員会 ① 法人の管理運営 ② 入退会及び表彰 ③ 独禁法の遵守及び相談 ④ 測量設計業務の実態調査及び解析 ⑤ 会員の資質向上に関する研修会の開催 ⑥ その他、他の委員会に属さない事項	委員長 久松 顕 委員 伊藤 俊行 副委員長 森 康彰 ” 坂野 晃嗣 委員 酒井 誠 ” 岩木 利志 ” 永田 行活 ” 永草 健裕 ” 浜田 哲也 ” 宇佐 美明 ” 高木 喜一 担当副会長 西出 剛大 ” 川口 英朗
広報委員会 ① 発注機関への要望活動 ② 機関紙「方位」の発刊 ③ 協会・測量設計業の啓蒙啓発 ④ その他広報に関する事項	委員長 永草 新吾 委員 坂口 耕一 副委員長 服部 真澄 ” 加藤 健司 ” 河本 啓一 ” 榊原 雅彦 委員 町田 穂積 担当副会長 西出 剛大 ” 安藤 健一郎 ” 須藤 一彦 ” 山本章好
測量委員会 ① 測量技術(地理空間情報等)の研鑽 ② 研修会及び講師派遣(国・県・市町村等) ③ 測量設計無料相談(一般県民等) ④ 「測量の日」(国土地理院)記念事業の実施 ⑤ その他測量(用地業務含む)に関する事項	委員長 川崎 敏昭 委員 鈴木 善晴 副委員長 吉本 三広 ” 河村 利由紀 ” 柴田 修身 ” 浅野 強 委員 川地 昭宏 ” 樋口 悟 ” 中村 竜平 ” 早川 友幸 ” 中谷 正和 ” 大西 俊次 ” 鈴木 守 担当副会長 青木 拓生
建設コンサルタンツ委員会 ① 建設コンサルタント業務の技術の向上・改善 ② 事業領域の拡大・研究 ③ 会員の技術向上に関する研修会 ④ その他建設コンサルタンツに関する事項	委員長 尾藤 宜伸 委員 廣田 保雄 副委員長 石堂 公彦 ” 山田 雅登 ” 國島 正彦 ” 箕浦 文磨 委員 栗山 智明 担当副会長 青木 拓生 ” 都築 章宏 ” 奥村 和夫
危機管理委員会 ① 災害等緊急時体制の整備・充実 ② 災害等緊急時における技術支援 ③ 協会・会員のBCP作成・支援	委員長 小中 達雄 委員 尾崎 富男 副委員長 早川 正喜 ” 池端 康 ” 山本 成竜 ” 松原 智則 委員 河正 根 担当副会長 青木 拓生 ” 本多 孝久 ” 西出 剛大 ” 酒井 泰明 ” 廣瀬 稔也

会員名簿一覧

正会員

会 社 名	代表者名	郵便番号	住 所	E-mail	TEL
(株)アイエスシー	森 富雄	466-0059	名古屋市中区福江2-9-33 nabi/白金2階	general@isc-ngo.co.jp	052-882-1201
(株)愛河調査設計	山本 成竜	457-0074	名古屋市中区本地通6-8-1	asso@aiga-cc.co.jp	052-819-6508
愛徳コンサルタント(株)	針間 崇義	470-0342	豊田市清水町大清水38-10	aitoku-c@woody.ocn.ne.jp	0565-45-5557
(株)葵エンジニアリング	角田 安史	453-0018	名古屋市中村区佐古前町22-6	iso@aoi-eng.co.jp	052-486-2200
あおい建設コンサルタント(株)	濱崎 将志	461-0005	名古屋市中区東横2-3-7	aoi@japan-net.ne.jp	052-933-2091
葵コンサルタント(株)	中川 恵子	444-2118	岡崎市河原町13-2	soumu@aoi-con.co.jp	0564-22-7058
(株)葵設計事務所	中西 慎仁	440-0085	豊橋市下地町2-51	soumu@aoi-sekkei.jp	0532-55-5263
(株)アクセス	赤松 光昭	448-0013	刈谷市恩田町1-159-1	access_survey@katch.ne.jp	0566-23-8667
(株)朝日設計事務所	朝日 烈	465-0024	名古屋市中区東区本郷3-118	soumu@asahisekkeijimusho.co.jp	052-774-7181
(有)旭測量事務所	金子 郁男	440-0851	豊橋市前田南町1-4-12	surveyor@cello.ocn.ne.jp	0532-54-5934
(株)旭調査	村瀬 伸吾	468-0052	名古屋市中区井口1-2017	asahi@asahi-c.co.jp	052-838-7721
(株)あづま	柴田 修身	440-0026	豊橋市多米西町1-20-9	aduma@631255.jp	0532-63-1255
アマノコンサルタント(株)	天野 隆俊	444-2131	岡崎市青木町22-5	info@amano-c.com	0564-45-2445
アローコンサルタント(株)	栗山 智明	456-0018	名古屋市中区新尾頭2-2-32 勢州館金山ビル内	soumu@arrow-c.co.jp	052-684-5684
(株)石田技術コンサルタンツ	吉本 三広	485-0028	小牧市東新町50	itsom@itcnet.co.jp	0568-73-1085
井上測量設計(株)	佐々木康次	460-0001	名古屋市中区三の丸1-10-1 TLMビル3階	inoue-s@uranus.dti.ne.jp	052-212-5193
(株)宇井測量設計	宇井 源悟	470-1219	豊田市秋部西町西裏19番地1	uiss@lilac.ocn.ne.jp	0565-85-0830
N T C コンサルタンツ(株)	大村 仁	460-0003	名古屋市中区錦2-4-15 ORE錦二丁目ビル4階	eigyou.hn@ntc-c.co.jp	052-229-1701
(株)M S S	酒井 誠	454-0054	名古屋市中川区八剣町3-24	jimuso@kkmss.co.jp	052-602-7715
(株)オオバ名古屋支店	弓場 昌治	460-0003	名古屋市中区錦1-19-24 名古屋第一ビル7階	info_na@k-ohba.co.jp	052-219-0083
(有)大場測量設計事務所	大場 孝男	444-0835	岡崎市城南町3-4-3	ohba@mikaworld.com	0564-52-8505
(株)大增コンサルタンツ	西出 剛大	454-0828	名古屋市中川区小本2-14-5	soumu@ohmasu.co.jp	052-363-1131
(株)大屋測量設計	瀬戸 孝学	465-0025	名古屋市中区東区上社2-220-1	ohyasv@sepia.ocn.ne.jp	052-908-0672
(株)梶川土木コンサルタント	梶川 洋	448-0037	刈谷市高倉町4-508	info@k-cc.co.jp	0566-24-6606
(株)カナエジオマチックス	飯谷 哲矢	460-0012	名古屋市中区千代田1-12-5	kanal@kanal.co.jp	052-249-9611
(株)神田設計	吉川 明宏	451-0062	名古屋市中区花の木1-3-5	info@kanda-s.co.jp	052-522-3121
(株)協同コンサルタント	近藤 優	458-0801	名古屋市中区鳴海町字中沙田84-1	info-mail@kyodoconsul.com	052-624-3311
協和調査設計(株)	江刺家 智	454-0839	名古屋市中川区篠原橋通2-44	soumu@ky-cs.co.jp	052-365-3711
(株)小嶋コンサルタント	町田 穂積	445-0804	西尾市緑町2-36	kojima-j@kojima-ss.com	0563-53-5331
コムワークスエンジニアリング(株)	今枝 晃	466-0058	名古屋市中区白金3-19-15	cw-bizcontact@com-worx.co.jp	052-884-8411
(株)酒井設計事務所	酒井 泰明	471-0827	豊田市平山町5-1	sakai@hm6.aitai.ne.jp	0565-27-1762
栄土地測量設計(株)	青山 貴洋	440-0011	豊橋市牛川通二丁目10-2	info@sakaetochi.co.jp	0532-55-1230
(株)三愛設計	渡辺 政斗	492-8144	稲沢市小池1-5-8	office@sanai-sekkei.co.jp	0587-32-8313
(株)サンキ	安藤 健一郎	456-0032	名古屋市中区三本松町6-5	andou-k@3ki.co.jp	052-884-2555
三協調査設計(株)	浜田 哲也	460-0015	名古屋市中区大井町4-17	sohmu@sankyocon.co.jp	052-331-5371
敷島測量設計(株)	中島 正義	462-0014	名古屋市中区楠味鏡3-302	BCH10311@nifty.com	052-901-5005
設楽測量設計(株)	加藤 博俊	441-2302	北設楽郡設楽町清崎字岩井25-2	sitasoku@guitar.ocn.ne.jp	0536-62-1456
柴山コンサルタント(株)	加藤 将道	461-0011	名古屋市中区白壁1-69	eigyo@shibayama-consul.co.jp	052-961-0111
信栄測量設計(株)	高木 喜一	471-0024	豊田市元城町4-28	scc@ruby.ocn.ne.jp	0565-31-1113
新栄測量設計(株)	赤石 泰也	485-0044	小牧市常普請3-124	akakiko@r3.dion.ne.jp	0568-76-1755
新晃コンサルタント(株)	鈴木 善晴	462-0853	名古屋市中区志賀本通2-46	info@shinko-c.com	052-911-1286
(株)新日	石堂 公彦	454-0011	名古屋市中川区山王1-8-28	business@shinnichi.co.jp	052-331-5356
(株)伸和	林 清一	457-0863	名古屋市中区豊1-45-12	hayashi@kk-shinwa.com	052-692-0146
(株)須藤事務所	須藤 一彦	471-0842	豊田市土橋町4-67	bond@sudou.net	0565-29-0281
(株)成和コンサルタント	浅野 強	441-1375	新城市宇的場15-2	seiwa1@jeans.ocn.ne.jp	0536-23-6418
太栄コンサルタンツ(株)	川口 英朗	460-0012	名古屋市中区千代田3-26-18	kikaku@daiei-con.co.jp	052-332-3355
(株)大建コンサルタント	廣瀬 稔也	460-0011	名古屋市中区大須4-11-17	gyoumu@daikenc.jp	052-252-5171
(株)大地コンサルタント	山本 章好	440-0026	豊橋市多米西町1-5-5	ddm@daichi-c.jp	0532-21-6649
(株)拓工	青木 拓生	456-0004	名古屋市中区東区桜田町15-22	kanri-ask@c-takko.co.jp	052-883-2711
中央コンサルタンツ(株)	藤本 博史	460-0002	名古屋市中区丸の内3-22-1	honsha-info@chuoh-c.co.jp	052-971-2541

紹介

会 社 名	代表者名	郵便番号	住 所	E-mail	TEL
(株)中建	岩 木 利志	464-0823	名古屋市千種区松竹町1-40	chuken@k7.dion.ne.jp	052-762-1341
中部地域整備(株)	横 山 辰夫	460-0002	名古屋市中区丸の内2-2-15	CRD@chance.ne.jp	052-201-2831
(株)中部テクノス	藤 井 喜裕	465-0024	名古屋市名東区本郷2-141	eb.ngy@c-aas.co.jp	052-768-4410
(株)中部テック	永 草 新吾	465-0092	名古屋市名東区社台3-48	info@chubu-tech.co.jp	052-771-1251
中部土地調査(株)	上 野 英和	451-0042	名古屋市西区那古野2-26-8	c-tochi@chubutochicyoua.co.jp	052-565-1881
中部復建(株)	筒 井 重満	466-0059	名古屋市昭和区福江1-1805	eigyou@chubu-fk.co.jp	052-882-6611
司開発(株)	加 藤 一弘	448-0028	刈谷市桜町1-10	info@tsukasa-kaihatsu.com	0566-23-1056
(株)つかもと	塚 本 兼之	486-0927	春日井市柏井町2-59	soumu@tukamoto.co.jp	0568-31-7268
東栄測量設計(株)	松 本 幸三	454-0961	名古屋市中川区戸田明正2-2210	t-soumu@touie.ecnet.jp	052-618-8760
(株)東海コンサルタンツ	中 沢 真三	440-0862	豊橋市向山大池町18-15	main@tokai-con.jp	0532-53-3400
東洋測量設計(株)	松 井 宗廣	462-0011	名古屋市北区五反田町81	somu@tc-toyo.co.jp	052-902-1811
中日本建設コンサルタント(株)	庄 村 昌明	460-0003	名古屋市中区錦1-8-6 ONEST名古屋錦スクエア	e_jimu@nakanihon.co.jp	052-232-6032
(有)西尾測量	西 尾 榮司	471-0842	豊田市土橋町5-9-3	nishio-s@hm3.aitai.ne.jp	0565-29-7124
ニチイコンサルタント(株)	早 川 友幸	491-0837	一宮市多加木2-9-3	NICHII@nichii.co.jp	0586-71-8781
日本工営都市空間(株)	吉 田 典明	461-0005	名古屋市東区東桜2-17-14	tsc-society@n-koei.co.jp	052-979-9111
早川都市計画(株)	早 川 正喜	471-0805	豊田市美里2-17-5	soumu@hayakawa-t.co.jp	0565-89-8068
(株)東愛知コンサルタント	宇 佐 美 明	441-8053	豊橋市柱二番町2-1	office@h-aichi.com	0532-48-5665
久松測量設計(株)	久 松 顕	492-8143	稲沢市駅前4-7-11	info@hisasoku.com	0587-21-4077
富士エンジニアリング(株)	仲根登美子	464-0067	名古屋市千種区池下1-11-21 サンコート池下5階	a.takeuti@fuji-eng.co.jp	052-763-1616
不地弘測量設計(株)	太 田 昭彦	470-0374	豊田市伊保町上北野49-2	fujikoh-ota@nifty.com	0565-45-8336
藤コンサル(株)	藤 本 桂介	450-0002	名古屋市中村区名駅3-22-8 大東海ビル	eigyo@fuji-con.co.jp	052-433-1261
フジコンサルタント(株)	加 藤 健司	497-0044	海部郡蟹江町大字蟹江新田字前波226	info@fujicon-c.co.jp	0567-96-1063
(株)丸太測量設計事務所	梅 村 正明	471-0024	豊田市元城町2-8-2	marutas@estate.ocn.ne.jp	0565-32-5121
(株)メイトーテック	上 山 義之	455-0003	名古屋市港区辰巳町1-44	k.yoshiyuki@meito-tech.co.jp	052-654-0363
(株)名邦テクノ	服 部 真澄	457-0048	名古屋市南区大磯通6-9-2	soumu@meiho-techno.co.jp	052-823-7111
(株)名北総合技研	山 田 雅登	462-0801	名古屋市北区新堀町49	eigyo@meihoku-sg.co.jp	052-981-4916
(株)横測	宮 川 栄一	477-0037	東海市高橋須賀町西組14	info@aichi-yokosoku.co.jp	0562-33-1294
リード測量設計(株)	音 部 祥一郎	444-0113	額田郡幸田町大字菱池字東部81	lead@viola.ocn.ne.jp	0564-62-6367
若鈴コンサルタンツ(株)	吉 田 伸宏	452-0822	名古屋市西区中小田井5-450	soumu@wakasuzuc.co.jp	052-501-1361

準会員

会 社 名	代表者名	郵便番号	住 所	E-mail	TEL
(株)フジヤマ名古屋支店	鈴 木 正道	464-0075	名古屋市千種区内山3-7-3	nagoya@con-fujiyama.com	052-734-4030
(株)ランド・コンサルタント中部支社	洞 ノ 口 一伸	467-0862	名古屋市瑞穂区堀田通8-18 ウィステリア堀田201号室	chubu-b.o@land-c.co.jp	052-693-6218

賛助会員

会 社 名	代表者名	郵便番号	住 所	E-mail	TEL
中京コピー(株)	嶋 津 誠司	461-0001	名古屋市東区泉3-30-3	c-net@chukyocopy.co.jp	052-931-2611
(株)東海八嶋	嶋 津 誠司	456-0004	名古屋市熱田区桜田町16-3	tohachi@chukyocopy.co.jp	052-931-7135
西尾レントオール(株)中部支店	濱 田 雅義	460-0003	名古屋市中区錦1-6-17 オジソン錦ビル9階	masayoshi.hamada@nishio-rent.co.jp	052-203-8240
株日刊建設工業新聞社名古屋支社	田 野 口 美秋	461-0001	名古屋市東区泉1-22-22 TODAビル	nagoya@decn.co.jp	052-961-2631

Trimble の 3D ソリューションで 高精度点群をすばやく取得

用途で選べる 4 モデル



Trimble X12

世界最高クラスのスペックを持つ
ハイエンドモデル

- ✓ 複雑な構造物のスキャンに
- ✓ 暗所での業務に

Trimble X9

機動力と品質を兼ね備えた
ミドルレンジモデル

- ✓ 一歩先の性能が
求められる業務に

Trimble X7

小型軽量で機動力を重視した
スタンダードモデル

- ✓ 初めてスキャナーを
使用する方に

Trimble SX12

トータルステーション機能も持つ
ハイブリッドモデル

- ✓ 測量法に準拠した業務に

お問い合わせ先

トリンブルパートナーズ中部 株式会社

本社 〒 486-0817 春日井市東野町1丁目7番地12

TEL : 0568-85-1824 FAX : 0568-85-1834

URL : <http://www.trimble-chubu.com/>

MAIL : web@trimble-chubu.com

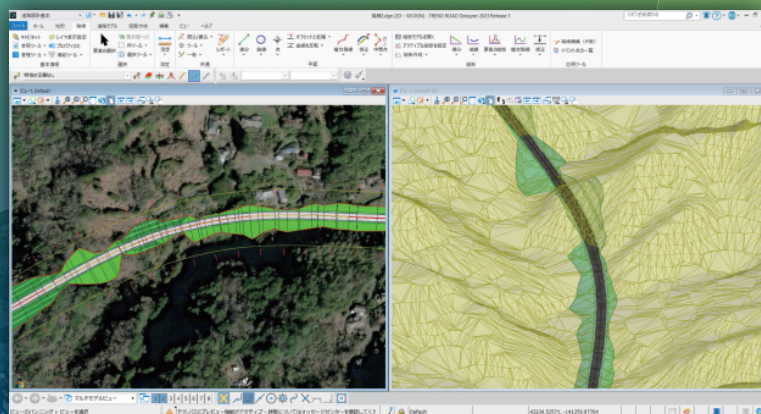
豊橋営業所 〒 441-8068 豊橋市神ノ輪町45番地2

TEL : 0532-35-9100 FAX : 0532-35-9102

三重営業所 〒 514-0821 三重県津市垂水495

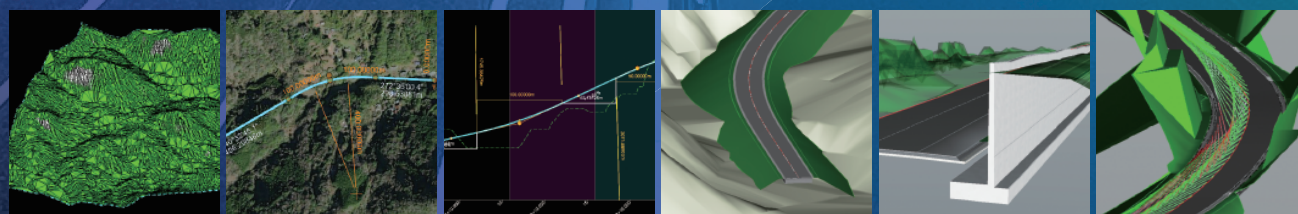
TEL : 059-222-7180 FAX : 059-222-7181

2023.7.18新登場

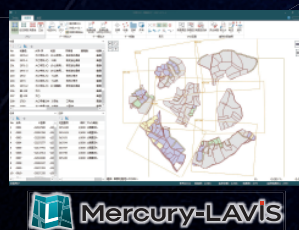


ネイティブ3Dが、これまでの道路計画の概念を覆す。

TREND ROAD Designerは、米ベントレー・システムズ社のOpenRoads Designerをベースに、国内の法令・基準に準拠した道路設計が行えるよう独自に改良を加えた道路設計3DCADシステムです。3D現況データ上に平面・縦断線形を計画し、状況に応じて可変する標準断面を設定することで容易に3D道路モデルを作成することができます。福井コンピュータ製品ラインナップに3D設計ソリューションが新たに加わったことで、一連の建設プロセスにおける3D化を支援してまいります。



※背景マップを表示する機能は、2023年7月のリリース版では未対応となります。※データ出典元：My City Construction・静岡県下田土木事務所・(一)河津下田線 伊豆地域振興対策道路整備事業に伴う設計業務委託



マーキュリー ラヴィス 地籍調査・14条地図作成システムMercury-LAVISも大幅にアップデート！

Mercury-LAVISは、法務局データから貸与される要約書CSV（登記）を利用して、地籍調査および法14条地図整備におけるD工程～H工程まで一連の業務を支援するシステムです。今回、「所有者不明土地等対策の推進のための関係閣僚会議」において、新技術の積極活用や必要な予算の確保に向けた取り組みを実施する旨の発表が行われた事を受け、システム全般の大幅なアップデートを実施しました。（2023.7.18リリース）

～「グループ保険制度」のご案内～

一緒に働く仲間だからこそ、守っていききたい…そんな企業さまの想いに応えた保険制度です！

制度内容（企業負担型・個人負担型）

グループ保険制度は万一（死亡・高度障害）やケガでの入院等があった場合に保険金・給付金をお支払いします。

本人						
申込 口数 (口)	一般の死亡・ 高度障害 【死亡・高度障害 保険金】 (万円)	不慮の事故によるお支払い		不慮の事故によるその他のお支払い		月払保険料 (円)
		不慮の事故による死亡 特定感染症による死亡 ※1 (万円)	不慮の事故による 高度障害 ※2 (万円)	不慮の事故による 身体障害 (程度により) ※3 (万円)	不慮の事故による 5日以上の入院 (120日を限度として) ※4 1日につき (円)	
6	1,200	1,200	1,200	420～60	9,000	5,340
5	1,000	1,000	1,000	350～50	7,500	4,450
4	800	800	800	280～40	6,000	3,560
3	600	600	600	210～30	4,500	2,670
2	400	400	400	140～20	3,000	1,780
1	200	200	200	70～10	1,500	890

◎本人コースの他に、配偶者コース・子どもコースもあります。
(配偶者コース・子どもコースは個人負担型のみ取扱い可能です。)
◎保険料は、年齢に関係なく一律です。
◎制度内容等詳細についてはパンフレットをご一読ください。

※1 災害保険金(災害割増特約より)
+災害保険金(災害保障特約より)
※2 災害高度障害保険金(災害割増特約より)
+障害給付金(災害保障特約 給付割合表第1級)
※3 障害給付金(給付割合表第2級～第6級)(災害保障特約より)
※4 入院給付金(災害保障特約より)

「グループ保険制度」の特徴

- 全測連中部地区協議会の福利厚生事業のひとつです。
ご加盟の企業さまのみご加入でき、企業さまにとっても以下のような効果があります。

- ★役員や従業員の**弔慰金**としてご活用いただけます！
- ★企業負担型の場合、**保険料は原則、全額損金算入処理**できます！
- ★計画的な支出が見込め、**安定した経営につながります！**

※企業負担型の場合、全員でご加入いただくことが条件です。
※個人負担型でのご加入も可能です。
※企業負担型と個人負担型、合わせてご加入いただくことも可能です。(通算引当限度額2000万円)
※税務の取扱いについては税制改正により今後変更となる場合がございます。
MY-A-23-他-006253

配当金で実質負担は軽減

- 1年ごとに収支計算を行い、剰余金は配当金として還付します。昨年度の配当率は約14.6%です。

※配当率は今後変動することがありますので将来のお支払いを約束するものではありません。
※配当率はお支払い時期の前年度決算により決定しますので、将来お支払いする配当金額は現時点では確定していません。

【ご質問・お問い合わせ先（引受会社）】

明治安田生命保険相互会社 中部公法人部法人営業第一部
TEL 052-951-9115

(時間：平日9：00～17：00まで)



『確定給付企業年金（DB）』のご案内

全国の測量協会の会員様にご加入いただいております。

退職金の事前積立／福利厚生への備え

当企業年金5つのメリット

- ① 掛金は**全額損金算入**（事業主負担）
- ② 従業員の老後の所得を**保証**
- ③ 人材確保における**福利厚生制度の拡充**
- ④ 運営実務の外注により、総務・人事の**負荷が軽減**
- ⑤ 自社単独で運営するよりも、**コストが抑えられます。**



●モデル給付（一時金又は有期年金）

加入年齢：20歳 平均標準報酬月額：340,000円

	60歳で退職	65歳で退職
◆一時金を選択すると	2,826,400円	3,447,500円
◆年金を選択すると	月額	月額
●受取期間 5年	50,183円	61,208円
●受取期間 10年	26,642円	32,492円
●受取期間 15年	18,833円	22,967円
●受取期間 20年	14,958円	18,242円

もう一つの年金制度「そくりようDC」

当基金にご加入の事業所様はご利用いただけます。
税制優遇を受けながら老後資金の準備をする確定拠出年金制度。



※ 上記は加入期間・受取期間とも全期間2.5%で推移したものとして試算しています。
※ 加入期間に応じて、退職時に一時金又は有期年金を選択して受給できます。

どんな小さなことでもお気軽にお問合せください！

そくりよう&デザイン企業年金基金

〒162-8626 東京都新宿区山吹町11番地1 TEL: 03-3235-7211



建設産業と、ともに歩みつづける

当社は、保証事業の公正かつ堅実な運営を通じて、
社会資本整備の円滑な推進と建設産業の健全な発展に貢献します。

東日本建設業保証グループは、皆様のご要望にお応えいたします！



東日本建設業保証株式会社

- 業務委託時の資金調達には  前払金保証
- 契約時の保証金納付に代えて  契約保証

KKS 株式会社建設経営サービス

- 経営環境の変化へ柔軟に対応  経営コンサルティング



日本電子認証株式会社

- 公共発注機関の電子入札には
- e-Tax,eLTAXによる税務申告に対応  A O S i g nサービス
- e-Govによる電子申請に対応  法人認証カードサービス

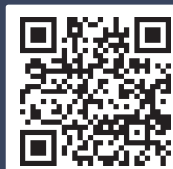
各種お申込み・お問い合わせは

東日本建設業保証株式会社 愛知支店

〒461-0008 愛知県名古屋市東区武平町5-1 名古屋栄ビルディング3F

T E L 052-962-3461 F A X 0120-027-516

U R L <https://www.ejcs.co.jp/>



未来ある街づくりをサポートする
総合建設コンサルタント「新日」

100年企業をめざして！
新日 新時代へ



補償調査

測量調査

建設コンサルタント

建築設計

不動産鑑定

■ 本社

〒454-0011
名古屋市中川区山王1-8-28
TEL 052-331-5356
FAX 052-331-4010
<https://shinnichi.co.jp>

■ 支店・営業所

東三河、西三河、豊田、春日井、一宮、稲沢、岐阜、三重、
伊勢、関西、奈良、関東、静岡、東北、福島

■ 関連会社

(株)新日ホールディングス、新日土地家屋調査士法人、
新日行政書士法人、(株)ミタス伊勢

総合建設コンサルタント
新日
株式会社 新日

Network of Technology and Confidence (技術と信頼のネットワーク)



建設コンサルタント：建31第1622号

河川・砂防及び海岸海洋
土質及び基礎
地質
鋼構造及びコンクリート
道路
港湾及び空港
建設環境
施工計画・施工設備及び積算

農業土木
トンネル
上水道及び工業用水道
都市計画及び地方計画
電力土木
造園
下水道

測量：第(13)－3810号

地質調査：質04第286号

一級建築士事務所：愛知県知事登録(い－3)第12331号

補償コンサルタント：補31第4300号



総合建設コンサルタント

NTC NTCコンサルタント株式会社

〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目4番15号

ORE錦二丁目ビル4F

TEL (052) 229-1701 FAX (052) 229-1702

Drawing the Future

人と自然と未来をつなぐ

測量・調査からデータの高度利用、コンサルティングまで一貫してご提供。
幅広い領域で社会資本整備を行う建設総合コンサルタントです。



測量・調査から情報整備、コンサルティングまで

一貫したサービスを提供する『建設総合コンサルタント』

建設総合コンサルタント



株式会社フジヤマ

お問合せ窓口

名古屋・豊橋・豊川支店

名古屋支店 / 〒464-0075 愛知県名古屋市中区千種区内山 3-7-3-5F

Tel.052-734-4030 Fax.052-734-4031

豊橋支店 / 〒440-0004 愛知県豊橋市忠興 2-6-24

Tel.0532-65-3030 Fax.0532-65-3031

豊川支店 / 〒441-1231 愛知県豊川市一宮町栄 212

Tel.0533-56-8600 Fax.0533-56-8601

本社 / 〒430-0946 静岡県浜松市中区元城町 216-19

Tel.053-454-5892 Fax.053-455-4619

支店・営業所 / 事業本部 磐田 袋井 掛川 静岡 島田 藤枝 焼津 富士 沼津 東京 多摩 埼玉
千葉 横浜 相模原 山梨 豊田 西尾 三重 岐阜 大阪 神戸 福岡 大分 熊本 宮崎

中京コピー Paperless Solution 文書電子化サービス

書類の電子化が快適なワークスタイルの鍵!



情報検索性・アクセス性
が向上します



情報の共有及び
コミュニケーション力が
アップします



スペースコストが
削減できます



文書の電子化には
さまざまなメリットが
あります



書類の紛失・劣化を
防ぎます



いつでもどこでも
データを利用できます



もしもの災害時にも安心
(事業継続計画/BCP)

中京コピーは皆さまの『快適テレワーク』をサポート致します!!

テレワーク中、オフィスに保管してある資料を確認するために「やむなく出社した経験がある」という方が6割以上とのデータもございます。

文書電子化



テレワーク



業務効率化
生産性向上

文書情報管理士、電子ファイリング検定、ファイリング・デザイナーなど
有資格者がサポートいたします! “何をどうお願いすればよいかかわら
ない”という方もまずはご相談ください。

スキャニングセンター開設
生産力大幅アップ!!

この度、電子化需要の
増加に伴い、新たにス
キャニングセンターを
開設しました。



中京コピー 株式会社

お問い合わせは
こちらまで

info@chukyocopy.co.jp

<本社> 〒461-0001 名古屋市東区泉三丁目30番3号

<東京事務所> 〒101-0021 東京都千代田区外神田4-12-9 ヒューリック秋葉原ビル6階

<大阪事務所> 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-1-20 第1スエヒロビル503号

<仙台営業所> 〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4丁目8-17

TEL : 052-931-2611 FAX : 052-931-2366

TEL : 03-6260-8570 FAX : 03-6260-8571

TEL : 06-4862-5241 FAX : 06-4862-5251

TEL : 022-399-6192 FAX : 022-399-6198



<http://www.chukyocopy.co.jp>

編集後記

広報委員会

副委員長 服部 真澄

本年度も機関誌「方位」を刊行することができました。ご多忙の中、ご寄稿いただきました愛知県建設局長中島様、愛知県政策企画局企画調整部企画課佐藤様には厚く御礼申し上げます。また、会長初め協会会員皆様方にも協力いただきありがとうございました。

さて、新型コロナウイルス感染症から3年以上が経ち、季節性インフルエンザと同様の扱いになるなど、さまざまな制限が緩和され、やっと以前の生活が戻ってきました。

当協会の委員会活動やイベントもコロナ感染症による制限なしの活動に戻って開催されております。令和5年度の「測量の日」記念講演会においては、当業界に携わる技術者不足が深刻化する中、次世代を担う方々に測量・設計業の技術動向や事例紹介の講演会、最新測量機器等の展示会を開催致しました。

当日は官公庁の職員や各団体の会員、一般参加者と学生を含めた300人を超える参加があり、盛大に行われました。

今年は梅雨入りが例年より早く、6月初めには台風2号と梅雨前線の影響で三河地域を中心に「線状降水帯」が発生し 時間80mm以上の猛烈な雨と、降り始めから500ミリを超える大雨により、道路や住宅が浸水し多くの被害が発生しました。

今回の豪雨災害では早期の復興を願い、当協会企業の協力により災害復旧対応を行っております。

方位の特集については「国家戦略特区」について取り上げさせて頂いております。この法律は平成25年12月に規制改革をするため成立した「国家戦略特別区域法」であり、「産業の担い手育成」のため愛知県全域が指定されているとの事。我々も規制改革メニューを活用し、当業界の活性化に繋ぎたいものです。

最後にこの機関誌は、皆さま方の仕事等を通じての研究、事例の紹介、幅広い活動の中でのご意見を発表し、公私にわたるご活躍の一助に成ることを願っています。

今後も多くの方からの寄稿をお待ちしております。



あいちアール・ブリュット展にて

『方位』 第46号

発行／ 令和5年10月31日発行

発行者／ 一般社団法人 愛知県測量設計業協会
〒460-0002
名古屋市中区丸の内3丁目19番30号
愛知県住宅供給公社ビル3階
TEL(052) 953-5021
FAX(052) 953-5020
E-mail:jimukyoku@aisokkyo.or.jp

編集／ 広報委員会
委員長 永草新吾 委員 山本章好
副委員長 服部真澄 委員 坂口耕一
副委員長 河本啓一 委員 加藤健司
委員 町田穂積 委員 榊原雅彦
委員 安藤健一郎 副会長 西出剛大
委員 須藤一彦

印刷／ 中京コピー株式会社